

香川県立保健医療大学

年報

2021

目 次

1. 名称・沿革等	1～2
(1) 名称	
(2) 学部・専攻科・研究科	
(3) 所在地	
(4) 沿革	
2. 組織図	3
3. 基本理念・教育目標・3つのポリシー	4～13
(1) 基本理念	
(2) 保健医療学部教育目標	
(3) 看護学科の3つのポリシー	
(4) 臨床検査学科の3つのポリシー	
(5) 助産学専攻科教育目標	
(6) 助産学専攻科の3つのポリシー	
(7) 保健医療学研究科の基本理念・目的	
(8) 保健医療学研究科の3つのポリシー	
4. 教育内容	14～23
(1) 保健医療学部	
(2) 助産学専攻科	
(3) 保健医療学研究科	
(4) 実習施設	
(5) 学年暦	
5. 教職員の状況	24～28
(1) 役職員	
(2) 教職員数	
(3) 教員の研究内容	
(4) 教員の研究業績	
6. 学生の状況	29～34
(1) 入学者選抜試験及び入学者の状況	
(2) 学部・専攻科・大学院在学生の状況	
(3) 出身県別学部学生数	
(4) 令和3年3月卒業生・修了生の進路	
(5) 国家試験の合格状況	
(6) 奨学生の状況	
(7) 学生相談	
(8) 課外活動	
7. 図書館の状況	35
(1) 運営状況	
(2) 図書館資料の整備状況	
(3) 利用状況	
8. 地域との連携・広報・情報公開	36～37
(1) 地域連携推進センター事業	
(2) 公開講座	
(3) 施設開放	
(4) オープンキャンパス	
(5) 高校等へ出張講座	
(6) 委員等への就任及び講師等の派遣	
(7) 情報公開	
9. 財務状況	38
(1) 令和3年度 歳入歳出予算	
(2) 外部資金の受け入れ状況	
10. 施設の状況	39～40
(1) 敷地面積	
(2) 建物	
(3) 建物配置図	
11. 研究活動	41～74
12. 管理運営	75～93

(1) 名 称

香川県立保健医療大学 (平成16年4月開学)

(2) 学部・専攻科・研究科

【保健医療学部】

●看護学科

入学定員: 70人

卒業後に取得できる資格: 看護師国家試験受験資格

保健師国家試験受験資格 (選択制)

(令和元年度以前の入学者)

●臨床検査学科

入学定員: 20人

卒業後に取得できる資格: 臨床検査技師国家試験受験資格

在学中に取得できる資格: 健康食品管理士認定試験受験資格

(所定科目の履修者)

遺伝子分析科学認定士 (初級) 認定試験受験資格

食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格

【助産学専攻科】

入学定員: 10人

卒業後に取得できる資格: 助産師国家試験受験資格

受胎調節実地指導員 (看護師資格を有する者)

新生児蘇生法講習会修了認定資格 (選択制)

【保健医療学研究科】

●看護学専攻 (博士前期課程)

入学定員: 5人

●看護学専攻 (博士後期課程)

入学定員: 2人

●臨床検査学専攻 (博士前期課程)

入学定員: 3人

●臨床検査学専攻 (博士後期課程)

入学定員: 2人

(3) 所 在 地

香川県高松市牟礼町原281番地1

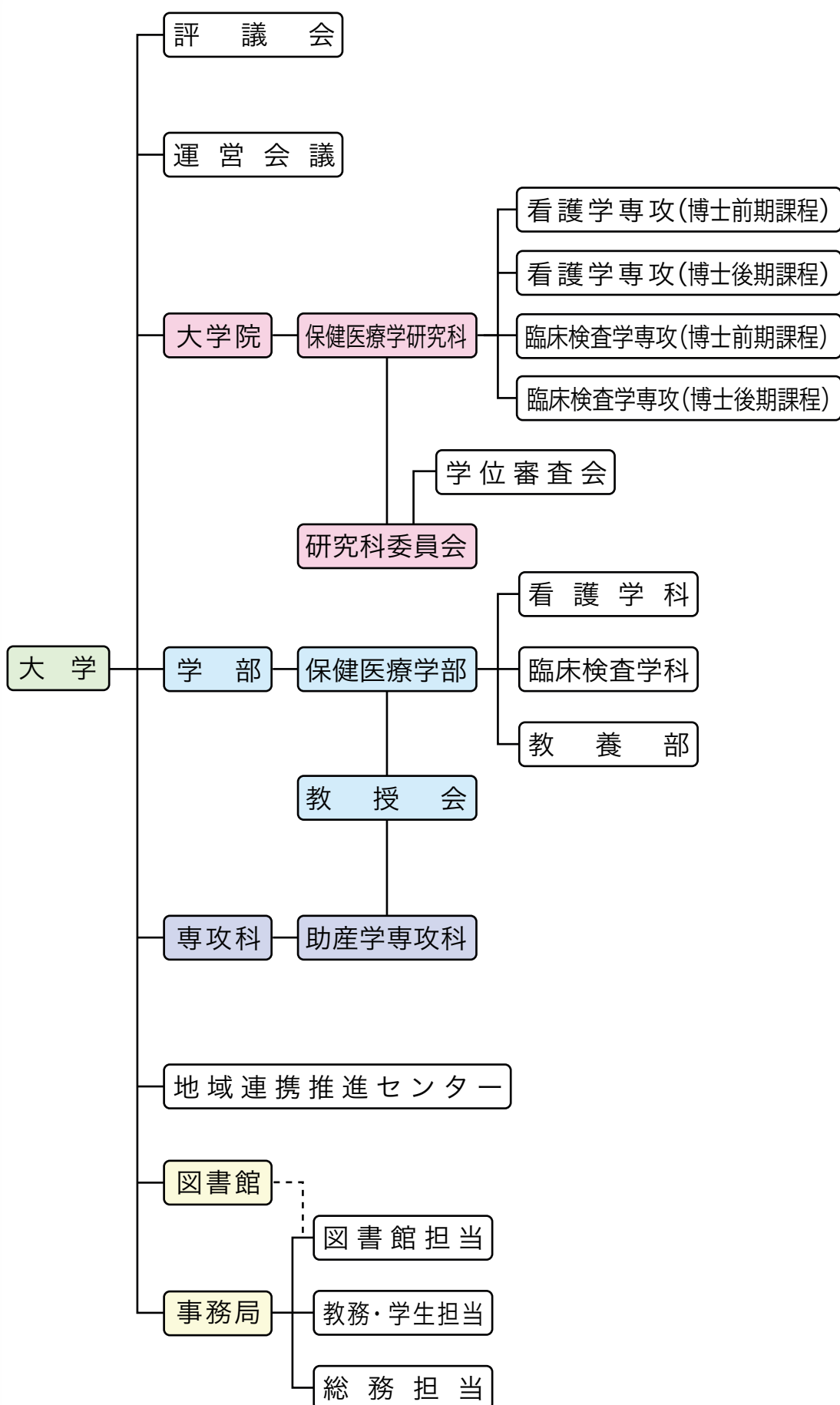
(4) 沿 革

①香川県立医療短期大学

- 平成 3年 3月 「香川県21世紀長期構想」事業計画で医療従事者の教育機関整備の検討を記述
- 平成 7年 4月 県立医療短期大学設立準備室設置
- 10月 県立医療短期大学整備基本構想策定協議会設置
- 平成 8年 2月 県立医療短期大学整備基本構想策定
- 12月 牟礼町原地区に設置決定
- 平成 9年 10月 建築工事起工式
- 12月 県立医療短期大学設置準備委員会設置
- 平成10年 4月 文部大臣へ県立医療短期大学設置認可申請
- 12月 文部大臣設置認可
- 県立医療短期大学設置条例公布
- 平成 11年 4月 県立医療短期大学開学（第1期生入学）
- 平成 14年 4月 県立医療短期大学専攻科設置
- 平成 19年 3月 県立医療短期大学閉学

②香川県立保健医療大学

- 平成 12年 6月 香川県新世紀基本構想で県立医療短期大学の4年制大学への移行について検討を記述
- 平成 13年 5月 香川県立医療短期大学4年制化検討委員会設置
- 11月 香川県立医療短期大学4年制化検討委員会提言
- 平成 14年 5月 大学設置基本構想策定委員会設置
- 11月 県立保健医療大学設置基本構想策定
- 県立大学設置準備委員会設置
- 平成 15年 4月 文部科学大臣に県立保健医療大学設置認可申請
- 11月 文部科学大臣設置認可
- 12月 香川県立保健医療大学設置条例公布
- 平成 16年 4月 県立保健医療大学開学（第1期生入学）
- 平成 20年 3月 県立保健医療大学第1期生卒業
- 平成 21年 4月 県立保健医療大学大学院保健医療学研究科（修士課程）設置
- 保健医療学部看護学科入学定員を50名から70名に増員
- 平成 23年 3月 大学院保健医療学研究科第1期生修了
- 4月 大学認証評価機関から「大学基準に適合している」との認定を受ける
- 地域連携推進センターを設置
- 平成 24年 4月 助産学専攻科を設置
- 看護学科学部教育に保健師選択制導入
- 看護学科3年次編入学制度の廃止
- 平成 25年 4月 大学院保健医療学研究科に専門看護師コース（精神看護）を設置
- 平成 29年 4月 大学院保健医療学研究科保健医療学専攻（修士課程）の学生募集停止
- 大学院保健医療学研究科に看護学専攻（修士課程）、臨床検査学専攻（博士前期課程）及び臨床検査学専攻（博士後期課程）を設置
- 平成 31年 4月 大学院保健医療学研究科に看護学専攻（博士前期課程）及び看護学専攻（博士後期課程）を設置
- 令和 2年 4月 看護師基礎教育の4年制を開始
- 令和 4年 4月 保健師・助産師課程の大学院化（予定）



(1) 基本理念

香川県立保健医療大学は、生命の尊厳を畏敬する深い人間愛を基盤として、教育、研究、地域貢献を推進します。

生涯にわたる知の探究と自己の能力を開発していく力を有し、地域の保健医療をリードする人材を育成します。

国際的視野を有し、保健医療の発展に寄与する先駆的研究を進めます。

地域のニーズに応える保健医療に関する情報発信や教育研究拠点として活動します。

これらを通じ、「県民に一目置かれる大学」として、人々の健康で心豊かな未来を拓きます。

(2) 保健医療学部教育目標

- 1 高い倫理観と教養を備えるとともに、深い人間愛に基づいて生命の尊厳を重んじることが出来る人間性豊かな人材を育成する。
- 2 看護学・臨床検査学に関する専門的知識・技術に基づいた総合的判断力を備え、実践することができる人材を育成する。
- 3 科学的思考力に基づいた豊かな創造性と探究心を持ち、生涯にわたり自らの能力の向上に努め、社会環境の変化や医療の高度化・多様化に適切に対応できる人材を育成する。
- 4 保健・医療・福祉における他の専門職と連携協働して、自らの役割と社会的使命を果たすことができる人材を育成する。
- 5 地域や国際社会の特性や問題を広い視野で理解し、多様な保健・医療・福祉の課題に適切に対応し、保健医療の向上に主体的に貢献できる人材を育成する。

(3) 看護学科の3つのポリシー

①ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

看護学科では、以下に示された能力を卒業までに修得することを重視して成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認め、学士（看護学）の学位を授与する。

- 1 一人ひとりの人間を総合的に理解し、互いに成長し合える関係形成ができる基礎的能力を身に付けている。
- 2 人の尊厳と権利を擁護する看護について探究し、倫理的判断に基づいて行動できる基礎的能力を身に付けている。
- 3 看護の対象と状況を的確にアセスメントし、根拠に基づく看護が実践できる基礎的能力を身に付けている。
- 4 看護の実践・研究・教育の場で、将来、論理的に課題を探究し対応できる基礎的能力を身に付けている。
- 5 看護の対象を取り巻く保健・医療・福祉チーム員の役割を理解し、人々と連携協働しリーダーシップが発揮できる基礎的能力を身に付けている。
- 6 常に変化する社会に関心を寄せ、地域における看護の課題を探究し、新たな看護を創造できる基礎的能力を身に付けている。
- 7 看護を学ぶ自分と真摯に向き合い、看護専門職として誇りと責任をもって実践し成長し続ける基礎的能力を身に付けている。

②カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

看護学科では、ディプロマ・ポリシーの実現を目指して、以下の方針（考え方）でカリキュラムを編成する。

進級に関しては、各学年で定められた単位を修得する必要がある「進級制」を採用する。

- 1 看護学の学修が、基礎から応用および専門に向けて、段階的に積み上がるように科目編成するとともに、看護学周辺領域の学修が、看護学の学修に関連づけられるように科目を設定し配置する。

全科目は、＜基礎科目群＞と＜看護専門科目群＞に大きく区分する。

＜基礎科目群＞は、「自然」「人間」「社会」「情報」「外国語」「健康」に区分する。

＜看護専門科目群＞は、「看護学総論」「看護技術論・臨床推論」「看護過程論」「健康レベル別看護論」「発達段階別看護論」「メンタルヘルス看護論」「地域・在宅看護論」「看護発展論」「看護学実習」「看護ゼミナール・看護研究」に区分する。

- 2 看護実践能力が4年間で「基礎－応用－統合」と着実に獲得できるように看護学実習を配置する。

1年次前期から「看護学導入実習」（1週間）によって看護を学ぶ動機づけを図り、2年次修了までに看護実践能力の基礎形成が確実になるように「看護技術論実習」（2週間）と「看護過程論実習」（4週間）を配置する。

3年次は、対象と場の特性に応じて展開できる看護実践能力に発展させるために「発達段階別看護論実習」（母性、小児、老年を各2週間）と、「メンタルヘルス看護論実習」（2週間）「在宅看護学実習」（2週間）を配置する。

4年次は、これまでに獲得してきた知識・技術と経験を「健康レベル別看護論実習」（3週間）と「看護学総合実習」（3週間）に統合させる。

- 3 1年次から4年次までの看護学実習前後に演習を配置し、看護師が行う「臨床推論・臨床判断」について事例を使って学修し、他の演習および実習の学びと統合させながら「根拠に基づく基礎実践能力」の獲得につなげる。演習は、学年を超えた学生同士・教員・臨床看護師の構成で行い、「連携協働する能力」「成長し続ける能力」の獲得につなげる。
- 4 地域貢献への志向性を培うために、1年次から、地域包括ケアと看護の役割拡大への関心及び理解が段階的に深まるように科目設定を行い、3年次以降に、「連携協働する能力」と「地域の看護を創造する能力」に発展させる。さらに、学生が主体的に、県内外の地域で暮らす人々に対する健康ボランティア活動を計画して実施する「地域健康サポーター実習」を2年次～4年次の自由時間内で実践する。
- 5 学生の自律性と創造性が発揮できるように、自己学修、グループ討議、発表会など多様な学修形態を採り入れるとともに、個人およびグループによる学修時間が確保できるように科目時間数設定と時間割編成を行う。

また、1年次「看護ゼミナールⅠ」で課題探求能力の基礎作りを行い、3年次「看護ゼミナールⅡ」と、4年次「看護研究」の課題探求能力の発揮につなげるようにする。

③アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- 1 科学的思考力を発展させる基礎学力を有している人
- 2 人間に関心があり、人との関わりに喜びを感じる人
- 3 状況判断ができ主体的に行動できる人
- 4 地域の看護実践の発展に貢献したい人

(4) 臨床検査学科の3つのポリシー

①ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

臨床検査学科では、以下に示された能力を卒業までに修得することを重視して成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認め、学士（臨床検査学）の学位を授与する。

- 1 豊かな人間性と高い倫理観を身に付けている。
- 2 臨床検査に必要な専門的な知識・技術と実践能力を身に付けている。
- 3 臨床検査学発展のために、自らの能力の向上に努め、データ管理力や科学的思考力を用いて研究できる基礎的能力を身に付けている。
- 4 国際感覚を備え、臨床検査を通して、地域社会に広く貢献できる能力を身に付けている。
- 5 医療・環境・食品・保健分野などで、他職種と連携しながら、幅広く活躍できる能力を身に付けている。

②カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

臨床検査学科では、「教養教育科目」、「専門基礎科目」、「専門科目」の3つの柱で構成し、豊かな教養と科学的思考に基づいた知識・技術及び総合的实践能力が修得できるように科目配置する。

進級に関しては、各学年で定められた単位を修得する必要がある「進級制」を採用する。

- 1 「教養教育科目」は、豊かな人間性と教養を培い、情報化、国際化など時代の変化に的確に対応できる能力を培う科目で構成する。

特に検査データ管理に必要な「情報科学Ⅰ・Ⅱ・演習」は必修とし、知識、応用、実践能力を高めるように指導し、演習課題で成果を評価する。

さらに「英語Ⅰ・Ⅱ」を必修とし、生命や健康に関するロールプレイやグループワークの課題から、医学英語の実用表現を学び、討議内容により評価する。

- 2 「専門基礎科目」は、健康、疾病、病態を広く理解するため、人体の構造と機能を系統的に理解し、臨床検査についての専門知識、技術、医療チームとしての役割、他職種との連携を学ぶ目的で構成する。

専門科目に繋がる基礎となる科目は、ほとんどが定期試験により評価する。

さらに、国際的視野を広げるために、「国際保健論」を設け、他職種との連携のために、「組織論」と「地域チーム医療論」を設ける。これらの科目は、グループ討議、グループワーク、課題発表により評価する。

- 3 「専門科目」は、臨床検査学主要科目の講義、学内実習を中心に、検査結果を総合的・多角的に判断分析、管理運営する基礎能力及び検査技術の修得を目的とし、グループ討議、課題学習、レポート提出及び定期試験で評価する。

さらに、臨地実習前には、実習に必要な知識、実技、接遇能力の確認、補填を行い、一定レベル以上の能力獲得評価を行う。

「臨地実習」は、臨地実習ガイドラインをもとにした実習施設とのプログラム確認により、総合的实践能力を高めるように編成する。

「臨地実習」の成果は、実習施設の教科ごとの責任者の評価と学内での最終試験により総合的に評価する。

医療の高度化や社会環境の変化に対応すべく、「検診検査学」、「救急医療概論」、「生殖補助医療技術論」、「医療経済学」、「リスクマネジメント」、「健康食品学」などの科目についても、履修可能な体制をとっている。

さらに、所定科目履修者は、在学中に、健康食品管理士、遺伝子分析科学認定士及

び食品衛生管理者・食品衛生監視員の資格取得が可能となる体制をとっている。

「卒業研究」は、少人数グループ制で実施することで、科学的思考力、データ管理能力を高めるような指導を行い、抄録提出と学内発表等から評価する。

③アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- 1 論理的思考に必要な基礎学力を有している人
- 2 責任感と協調性があり、主体的に行動できる人
- 3 知的好奇心が旺盛で、科学的な観察力を持つ人
- 4 臨床検査技術を基盤に、地域の多様な分野で活躍したい人

(5) 助産学専攻科の教育目標

- 1 性と生殖における生活上の健康問題について、女性のライフステージ各期の健康水準を診断し支援するウィメンズヘルスケア能力を養う。
- 2 妊娠・分娩・産褥・新生時期の健康水準を診断し、マタニティサイクル各期が自然で安全に経過し、育児が健全に行えるよう支援するマタニティケア能力を養う。
- 3 変動する社会のニーズや医療の進歩に対応できる能力と科学的根拠に基づいた質の高い専門的知識・技術及び助産実践能力を養う。
- 4 母子保健医療チームの一員として他職種と協働しながら対象者と家族が生活する地域の課題に積極的に取り組み地域社会に貢献できる姿勢を養う。
- 5 助産師としてのアイデンティティを育み、生涯を通じて自己の資質の向上を図る姿勢を養う。

(6) 助産学専攻科の3つのポリシー

①ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

助産学専攻科では、以下に示された能力を修了時までに修得することを重視して成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に対して、修了を認める。

- 1 女性の一生における性と生殖に関する健康課題に対して支援するためのウィメンズヘルスケア能力を身に付けている。
- 2 妊産褥婦と新生児に対して安全・安心な助産ケアを提供でき、育児が健全に行えるよう支援するためのマタニティケア能力を身に付けている。
- 3 助産師としての役割や自身の行動に責任を果たす能力、豊かな人間性及び高い倫理観を身に付けている。
- 4 変動する社会のニーズや医療の進歩に対応できる能力、科学的根拠に基づいた知識・技術及び基礎的助産実践能力を身に付けている。
- 5 他職種と協働し、地域で生活している母子の健康に貢献できる能力を身に付けている。
- 6 生涯にわたり自己の資質の向上に努める能力と助産師としてのアイデンティティを身に付けている。

②カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

助産学専攻科では、「基礎領域」、「実践領域」、「実践関連領域」の3つの柱で構成し、助産師に必要な基本的能力（コア・コンピテンシー）を倫理的感応力、マタニティケア能力、ウィメンズケア能力、専門的自律能力と位置づけ、これらの能力が修了時に修得できるように科目配置する。

- 1 「基礎領域」では、助産の対象である母子及びその家族について、人間、環境、社会の側面から理解するための科目や助産学を探究する科目を配置し、学生が自主的な学習意欲に基づいて学ぶ。

学修課題への取組みと達成状況、レポート及び筆記試験によって総合的に評価する。

- 2 「実践領域」では、講義、学内演習、実習を通じて、妊産褥婦及び新生児とその家族を支援する助産の実践に必要な基本的な知識・技術を中心に学ぶ必修科目を配置する。

筆記試験のみでなく、演習課題への取組みと達成状況、レポート及び助産技術試験で評価する。

特に実習科目は、助産師として必要な基礎的助産実践能力を獲得するために重要な科目である。

「助産学実習Ⅰ」では、妊娠分娩産褥期及び新生児期を継続して1事例受け持つ実習とするため、入学後早期から実習を開始し、病院及び助産所において継続した助産ケアについて学ぶ。

「助産学実習Ⅱ」では、分娩介助を中心に、病院において妊産褥婦及び新生児に対する助産実践について学ぶ。規則により正常な分娩を10例介助することが修了要件となっており、実習期間内に介助できない場合は補習実習を行う。

「助産学実習Ⅲ」では、病院及び助産所の助産管理、「助産学実習Ⅳ」では、ライフサイクル全般の女性への健康支援の実践について学ぶ。

実習科目については、実習施設の実習指導者の意見も得て、評価表に基づいて総合的・客観的に基礎的助産実践能力を評価する。

さらに、継続事例への関わりを事例研究としてまとめることで科学的思考能力を養い、評価表に基づき研究能力を評価する。

- 3 「実践関連領域」では、卒業後に卓越した助産実践能力を獲得することを目的として選択科目を配置する。

「総合ヘルスケア論」では、経験豊かな助産師により助産技術を学ぶ。

また、「母子保健活動論Ⅱ」では、国際的な母子保健活動の実践や民間団体による母子保健活動の講義から助産師に求められている課題や他職種との連携について学ぶ。

「助産学実習Ⅴ」では、地域で生活している母子の健康支援方法について学ぶ。

さらに、「新生児蘇生法講習会（専門コース）」の修了認定資格を得ることが可能となるよう、「新生児学・乳幼児学特論Ⅱ」では、新生児救急蘇生における助産師の役割について学ぶ。

③アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- 1 看護学の基盤を有し、助産学を追究する姿勢をもっている人
- 2 自分の行動に責任を持ち、生命の誕生に真摯に向き合える人
- 3 助産師として、地域で生活している母子の健康に貢献することを目指す人

（7）保健医療学研究科の基本理念・目的

人々の健康と自立の支援を基本理念として、保健医療の分野においてより高度で専門的な学術理論及び実践能力を修得するとともに、包括的な判断能力と指導力を有する高度専門職業人を育成することにより、保健・医療・福祉が連携した質の高い総合的サービスを提供し、高度な専門知識を持ち、新規かつ独創的な研究成果を発信する研究能力を持つ教育者・研究者を育成することにより、地域の保健医療の質向上、人々の健康増進、ひいては、健康長寿社会の推進や次世代育成支援に寄与する。

(8) 保健医療学研究科の3つのポリシー

看護学専攻

①ディプロマ・ポリシー（修了の認定に関する方針）

◆博士前期課程

修了要件となる単位を修得するとともに、必要な研究指導を計画的に受けた上で修士論文を作成し、保健医療学研究科看護学専攻が行う修士論文の審査及び最終試験に合格し、下記の条件をすべて満たす者に修士（看護学）の学位を授与する。

- 1 研究課題を探究し、研究目的に応じた方法を用いて成果を生み出す能力を有する。
- 2 看護の実践と研究において、倫理的判断と行動が遂行できる能力を有する。
- 3 専門領域の研究知見と看護実践の動向を把握し、批判的に検討し統合する能力を有する。
- 4 他者との討論を通して、自己と他者およびチームの成長につなげる能力を有する。

◆博士後期課程

看護学専攻博士後期課程に3年以上在籍し、専門共通科目（必修）6単位、専門科目（選択）2単位、演習科目（必修）2単位、特別研究科目（必修）6単位の合計16単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格することとし、加えて、博士論文に関する副論文1編を、査読制度のある学術雑誌に単著又は共著筆頭の原著論文、研究報告、総説のいずれかとして発表すること（印刷中の論文については、その旨を記入し、アクセプトされたことが分かる証明書を添付する）とする。これらの要件を全て満たす者に博士（看護学）の学位を授与する。

単位認定および論文審査にあたっては、以下の学位授与方針（ディプロマポリシー）に基づいて厳格かつ適切な評価を行う。

- 1 専門領域における独創的な研究を行い、新たな看護の知を創造する能力を有する。
- 2 科学的考察や議論を深めて、新たな看護の見解を論述する能力を有する。
- 3 自らの研究について、その真価を問うために社会に発信する能力を有する。

②カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

◆博士前期課程

専門共通科目16単位以上（必修6単位、選択10単位以上）と専門領域科目4単位以上、特別研究10単位で編成する。

専門共通科目は、広い視野で看護実践やその課題を捉えられる看護研究の基盤となる12科目「先端医学論」「チーム医療特論」「保健統計学特論」「生命・医療倫理論」「英論文作成概論」「看護理論」「看護と哲学」「質的研究方法論」「量的研究方法論」「地域包括ケア特論」「看護政策特論」「看護教育学特論」を配置する。

専門領域科目は、看護実践の探究と基礎的研究能力を育成するために各専門領域において「特論」「演習」「特別研究」を配置する。

専門領域は、「基盤開発看護学領域」「地域看護学領域」「精神保健看護学領域」「療養支援看護学領域」「次世代育成看護学領域」の5領域で構成し、看護実践の質の向上と変革をめざす。

- 1 基盤開発看護学領域では、あらゆる看護の対象と場における共通基盤である「看護専門職として成長・発展」および「エビデンスに基づく看護」について探究する。
- 2 地域看護学領域では、地域における今日的課題を考察すると共に、地域で生活する個

人・家族・集団および地域を対象とした看護実践において、生活の質の向上に貢献できる看護実践力や方策を探究する。

- 3 精神保健看護学領域では、メンタルヘルスに健康問題を持つ本人と家族を取り巻く人々が、その人らしい生活が生き生きと送れ、生活の質の向上を支援する看護実践を探究する。
- 4 療養支援看護学領域では、疾患や加齢により療養しているあらゆる健康レベルの本人や家族を対象として、臨床における対象者の生活の質を高める看護実践・開発を探究する。
- 5 次世代育成看護学領域では、次世代を育成する看護の観点から、周産期の妊産褥婦を含め広く女性を対象とした健康支援や子どもや家族の発達支援を探究する。

特別研究は、研究課題となる専門領域科目の特論と演習における学習に連動した研究を遂行し、専門性を深く探究した修士論文を完成とする。

◆博士後期課程

以下の4項目を教育方針（カリキュラムポリシー）として定め、体系的で適切な教育課程を編成する。

- 1 博士後期課程における看護学の専門領域は、地域包括ケアの推進に資する看護実践に役立つモデルの開発研究を目指し、「実践開発看護学領域」とする。
- 2 教育課程は、研究の基盤的知識を養う「専門共通科目」、看護学特別研究につながる「専門科目」と「演習科目」、博士論文を完成させる「特別研究科目」の4つの科目群で構成する。
- 3 「専門科目」の特論、「演習科目」の特別演習の学修を体系的に履修するコースワークが、「特別研究科目」のリサーチワークに統合するように科目を配置する。
- 4 授業は、人と論理的・対話的に議論することで、組織内で政策提言ができるリーダー能力の育成を意図した展開方法とする。

③アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

◆博士前期課程

看護学専攻博士前期課程では、基本理念・目的を達成するため、次のような資質を備えた人を求める。

- 1 生命の尊厳を畏敬する深い人間愛と洞察力をもつ人
- 2 看護の課題を科学的に探究し、エビデンスを活用する専門性をもちリーダーシップの発揮を志す人
- 3 看護実践や教育・研究に対する真摯な構想力や想像力、実践力を高めようとする人
- 4 看護学の発展に寄与できるアイデンティティを形成し、知識基盤社会の発展を目指して真理の追究を志す人

◆博士後期課程

実践科学としての看護学に対する深い学識を持つ自立した研究者として、看護実践に役立つモデルを独創的に開発し、研究成果を地域に還元することで、地域の看護実践の向上と変革に貢献できる教育者又は看護実践の組織的指導者を育成する。これによって、地域の看護の質向上及び県民の健康と福祉に寄与する。

この教育目的を達成するために、以下の3項目を受け入れ方針とする。

- 1 専門領域の深い知識と看護研究の基本的能力をもち、看護実践の向上と変革に貢献する独創的な研究に取り組める「論理的思考力」と「柔軟な発想力と創造性」を有している人
- 2 地域の看護実践の向上と変革に使命感をもち、研究成果に基づく政策提言ができる組織的指導者を目指したい人

- 3 看護学の発展に貢献する意志をもち、看護学の研究を創造的に推進できる教育者を目指したい人

臨床検査学専攻

①ディプロマ・ポリシー（終了の認定に関する方針）

◆博士前期課程

修了要件となる単位を修得するとともに、必要な研究指導を計画的に受けた上で修士論文を作成し、本研究科が行う修士論文についての研究の成果の審査及び最終試験に合格し、下記の条件をすべて満たす者に臨床検査学の修士学位を授与する。

- 1 国際専門誌の読解力を備え、全国学会でも研究を発表する能力があること。
- 2 研究テーマに自主性や独創性があり、研究仮説の立案から実証までのすべての過程の説明能力を有すること。

◆博士後期課程

修了要件となる単位を修得するとともに、必要な研究指導を計画的に受けた上で、主論文（1編）を英文で作成し、査読制度のある国際又は全国学会誌に投稿、査読を経て単著又は共著筆頭の原著として発表する（印刷中の論文については、その旨記入し、アクセプトされたことが分かる証明書を添付する）。なお、主論文に関連する副論文申請者が筆頭著者・共著者に入っている論文）の添付が望ましい。論文審査及び最終試験に合格し、下記の条件をすべて満たす者に臨床検査学の博士学位を授与する。

- 1 臨床検査学領域における問題を発見し、解決に導く能力を有し、自ら研究仮説の立案、研究の遂行、仮説の実証ができること
- 2 自らの研究について、社会への説明能力があり、国際又は全国学会誌に研究成果を発表できること

②カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

◆博士前期課程

臨床検査学専攻は、病態機能検査学及び病因解析検査学の2領域で構成する。

専門共通科目 12 単位以上（先端医療学、保健医療福祉論、チーム医療特論の必修6単位、選択6単位以上）、専門領域科目8単位以上（選択した特別研究が属する領域科目から特論2単位及び演習2単位、さらに他の領域科目も含め4単位以上）、特別研究 10 単位の合計 30 単位以上を修得する。

- 1 病態機能検査学領域では、神経系、循環器、呼吸器、腎機能など種々の生理機能検査や病理学的・細胞学的検査に基づく病態の解析法について、より専門性を深め、病態を解析・診断するための臨床検査学について学修する。
- 2 病因解析検査学領域では、病原微生物、生態防御に関わる免疫系、生体の代謝に重要な生化学的マーカー、遺伝子・染色体及びその関連物質等、病気を引き起こす要因について、より専門性を深め、病因を解析するための臨床検査学について学修する。
- 3 食品などの健康科学分野において、科学的な検証システムの構築などを通して人々の健康志向への対応や、社会医学分野における保健医療福祉に貢献できる方法について学修する。
- 4 膨大な量の検査情報を効率よく管理し、病態解析や病因解析に有効に利用するための検査情報管理法や検査部の管理運営法についても専門性を深め、検査部門における管理指導的役割について学修する。

- 5 特別研究は、研究課題となる専門領域科目の特論と演習における学修に連動した研究を遂行し、専門性を深く探究した修士論文を完成とする。

◆博士後期課程

保健医療学研究科の教育研究理念、臨床検査学専攻の教育目的に則って、臨床検査学の学術的基盤に基づいた高度な専門性と学際性とのバランスを図り、研究領域における教育・研究の深化と発展を目指し、さらにこれを科学的に究めて新規かつ独創的な研究成果を発信できる人材、すなわち、臨床検査学の高度な専門的能力と広範な専門知識、更に科学的検証能力を備えた人材を育成するために、以下のような方針に基づいてカリキュラムを編成する。「専門共通科目」、「専門科目」と「臨床検査学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」で構成し、「専門共通科目」は、1年次の前期に、臨床検査に関する幅広い研究テーマの研究課程における研究方法論を学修する1科目（「臨床検査学研究方法論」）を必修科目として、「専門科目」は、後期に高度医療専門職に必要とされる能力の獲得を目指し研究領域の教育研究について学修する4科目（「病原因子解析検査技術論」、「病理病態検査技術論」、「神経生理機能検査技術論」、「遺伝子検査技術論」）を選択科目として、それぞれ配置する。「専門共通科目」必修2単位、「専門科目」選択2単位以上の計4単位以上の修得とする。さらに個々の研究テーマについて独創的な視点から、研究仮説及び計画の立案、実験・解析・考察、仮説の立証を通して学位論文を完成させる。「臨床検査学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は、3科目6単位の必修科目として配置する。

- 1 「臨床検査学研究方法論」は、臨床検査に関する幅広い視野を有する教育者・研究者を育成するために、臨床検査に関する幅広い研究テーマに関する質の高い国際専門雑誌の英語論文抄読を行い、仮説の立案から仮説の科学的な検証に至るまでの研究課程における研究方法論について学修する。
- 2 「病原因子解析検査技術論」は、細菌感染症に対して抗菌薬を用いない全く新しい治療法の開発に繋げるための宿主・病原微生物相互作用研究やⅢ型分泌機構研究について学修する。
- 3 「病理病態検査技術論」は、消化器癌や乳癌等における癌の分子病理細胞診断に必要な技術と知識を深め、細胞接着因子の発現と上皮間葉転換による癌の浸潤、転移、悪性度に関する分子機構の解析について学修する。
- 4 「神経生理機能検査技術論」は、神経変性疾患における活性酸素の役割や天然化学物質の生体内情報伝達機構への影響とその作用機序について学修する。
- 5 「遺伝子検査技術論」は、遺伝子検査技術、遺伝学の基礎知識を更に深め、効率的な遺伝子検査の開発や遺伝子情報に関する情報リテラシーについて学修する。
- 6 「臨床検査学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は、必修の3科目6単位とし、開講は通年、年、1年次はⅠ、2年次はⅡ、3年次はⅢを配置し、それぞれ研究過程並びに博士論文作成過程の進度別に明示した3段階の到達水準を達成して進む順序性を設定する。満たない場合は、学修期間は4年、5年と延長する研究指導体制とする。
- 7 専門的な研究を深化させるための「学術セミナー」を各年次に実施する。「学術セミナー」では、院生が特別研究や博士論文作成過程での課題を発表し、院生間並びに教員と院生間において相互に討論を重ね、多様な観点からの専門的な研究並びに学際的な観点からの研究の深化を図ることを目的とする。また、特色として、専門分野における豊かな学識を有する者を招聘しグローバルな視点から、教育・研究への動機づけが得られる教育研修を企画し、多様な観点から専門的な研究指導と学際的な研究指導が受けられる体制とする。

③アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

◆博士前期課程

臨床検査学専攻博士前期課程では、基本理念・目的を達成するため、次のような資質を備えた人を求める。

- 1 生命を尊重し、いたわりの心をもつ人
- 2 臨床検査に関する基本的な知識・技能・態度を有している人
- 3 臨床検査学の領域におけるさまざまな課題についてリサーチマインドを持って探求し、解決に努力する人
- 4 新たな臨床検査技術の開発に向けた研究を行いたい人

◆博士後期課程

臨床検査学専攻博士後期課程では、基本理念・目的を達成するため、次のような資質を備えた人を求める。

- 1 臨床検査学の高度な専門知識と科学的検証能力の獲得に強い意欲を有する人
- 2 臨床検査学領域における問題解決能力を備え、独創的な技術基盤の構築に向け強い意欲を有する人
- 3 基本的な英語力を更に高め、国際専門誌の読解力や投稿への強い意欲を有する人
- 4 臨床検査学領域における教育者・研究者を目指す人

(1) 保健医療学部

①教養教育

教養教育は、専門分野の枠を超えて共通に求められる知識を得るとともに、人間としての在り方や生き方に関する高い倫理観と深い洞察力、さらには人々を取り巻く社会環境の変化に的確に対応できる能力を養うことを目的としている。

生命の尊重と豊かな人間性を養うための人文科学系科目、現代社会の諸問題や社会環境と人との関わり等を理解するための社会科学系科目、科学的思考に基づく問題解決の基礎となる自然系科目を設けている。

また、国際的視野をもって活動し、情報化社会にも対応できる人材の育成のために、外国語として英語と中国語を配置し、情報科学とコンピュータの基本操作を習得する科目を設けるほか、健康的な生活習慣に果たす運動の重要性を理解し、自らの健康管理とともに、地域の健康活動に貢献できる人材の育成を目指して健康科学科目を設けている。

総合科目としては、臨床検査学科の学生を対象に教養講座・香川を設け、香川県の魅力を紹介するとともに、さまざまな考え方を紹介し、多様な価値観があることを伝えている。さらに、学問に対する基本的な考え方や姿勢を身につけるため、自ら選んだ問題を自ら調べ、整理し、発表する能力を育成している。

これらの教養教育科目は、原則として看護学科および臨床検査学科共通とし、両学科の学生が同時に学習することによって、互いの交流と理解を深め、将来の保健医療分野での連携・協働が可能となるような教育を目指している。

授業科目

看護学科

(令和3年4月1日現在)

自 然	物理学、化学、生物学
人 間	教育学、心理学、哲学、健康科学、健康スポーツ、障がい論、生命倫理
社 会	社会学、法学、経済学、史学、文化人類学、医療倫理学、社会保障論
情 報	情報リテラシー、看護情報学、看護統計
外 国 語	英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、中国語Ⅰ・Ⅱ

臨床検査学科

(令和3年4月1日現在)

人 文 科 学	日本語表現法、哲学、史学、心理学、倫理学
社 会 科 学	法学、教育学、社会学、経済学、文化人類学
自 然 科 学	物理学、物理学実験、化学、化学実験、生物学、生物学実験
外 国 語	英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、中国語Ⅰ・Ⅱ
情 報 科 学	情報科学Ⅰ・Ⅱ・演習
健 康 科 学	健康科学、健康スポーツ
総 合 科 目	教養講座・香川

②看護学科

看護学科では、人の尊厳の擁護と科学的思考力を中核とする看護実践能力を身につけ、看護専門職として地域の人々の健康で幸福な生活の実現に貢献する、自律性と創造性が発揮できる人材の育成を目指している。

＜基礎科目群＞は、自然・人間・社会・情報・外国語・健康に区分して学ぶ。

＜看護専門科目群＞は、「看護学総論」「看護技術論・臨床推論」「看護過程論」「健康レベル別看護論」「発達段階別看護論」「メンタルヘルス看護論」「地域・在宅看護論」「看護発展論」「看護学実習」「看護ゼミナール・看護研究」に区分する。

教育課程の編成について、「看護学実習」は、看護実践能力が4年間で「基礎－応用－統合」と着実に獲得できるように配置する。特に2年次前期の実習修了までに基礎形成を目指す。看護学実習前後に演習を配置し、「臨床推論・臨床判断」の事例学習を協同（学生同士・教員・臨床看護師）で行う。1年次から地域包括ケアと看護の役割拡大への関心及び理解が段階的に深まるように地域看護学を配置、学生が主体的に取り組む「地域健康サポーター実習」を2年次以降で実施する。1年次「看護ゼミナールⅠ」で課題探求能力の基礎作りを行い、3年次「看護ゼミナールⅡ」と、4年次「看護研究」の課題探求能力の発揮につなげる。

授業科目

(令和3年4月1日現在)

看護専門科目群	基礎科目群 「健康」	人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ、疾病と治療Ⅰ～Ⅴ、病理学概論、臨床薬理 臨床栄養、医療とME機器、臨床心理学、臨床検査ラボラトリー
	看護学総論	看護学概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、看護教育、看護管理
	看護技術論・臨床推論	看護技術論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ、総合看護技術演習Ⅰ・Ⅱ 臨床推論演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
	看護過程論	看護過程論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ
	健康レベル別看護論	プライマリーヘルスケア、慢性期ケア、急性期ケア、リハビリテーション 看護、緩和・エンドオブライフケア、健康レベル別看護技術演習
	発達段階別看護論	成人看護学概論、老年看護学Ⅰ・Ⅱ、母性看護学Ⅰ・Ⅱ、小児看護学Ⅰ・Ⅱ
	メンタルヘルス看護論	精神保健看護学Ⅰ・Ⅱ
	地域・在宅看護論	地域看護学Ⅰ・Ⅱ、離島看護学Ⅰ・Ⅱ、在宅看護学Ⅰ・Ⅱ、地域包括ケア論
	看護発展論	家族看護、がん看護、チーム医療、看護における代替療法、訪問看護論 看護政策論、災害看護、看護職のメンタルヘルス、地域保健論 リプロダクティブ・ヘルス、異文化看護
	看護学実習	看護学導入実習、看護技術論実習、看護過程論実習、在宅看護学実習 発達段階別看護論実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、メンタルヘルス看護論実習 健康レベル別看護論実習、看護学総合実習、地域健康サポーター実習
	看護ゼミナール・看護研究	看護研究方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、看護ゼミナールⅠ・Ⅱ、看護研究

令和元年度入学生：保健師教育課程選択者は、別途、公衆衛生看護論の科目群を履修する

③臨床検査学科

臨床検査は、科学の進歩とともに大きく発展し、医療の分野で中心的な役割を果たしている。

本学では、臨床検査の総合的な実践能力を修得するため、臨床検査体験実習、基礎検査技術学演習をはじめ、多くの専門科目の実習や臨地実習を行っている。

また、医療の高度化・多様化に対応するため、先端医療技術学、臨床遺伝子検査学、生殖補助医療技術論など、幅広い高度な技術を学習するとともに、保健・医療・福祉の分野で活躍できる基礎的能力を習得するため、環境・食品検査学、健康食品学、食品衛生学、薬理学、救急医学、チーム医療論、検診検査学、リスクマネジメントなどについても受講できる体制をとっている。

さらに、科学的思考力や課題解決能力を習得する目的で、教養講座・香川、専門ゼミナール、卒業研究を通じて、少人数によるゼミ形式の教育を入学から卒業に至るまで一貫して行っている。

授業科目

(令和3年4月1日現在)

専門基礎科目		解剖学Ⅰ・Ⅱ、解剖学実習、生理学Ⅰ・Ⅱ、生理学実習、生化学Ⅰ・Ⅱ 生化学実習、生命科学概論、微生物学、病理病態学、検査機器概論、薬理学 実験動物学演習、公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、食品衛生学、環境・食品検査学実習 社会福祉学、瀬戸内圏環境論、国際保健論、組織論、地域チーム医療論 医療統計学Ⅰ・Ⅱ、人間工学、医用電子工学、医用電子工学演習 医療情報処理学
専門科目	分析検査学	臨床化学検査学、生体試料分析検査学、病態化学分析検査学 生体試料分析検査学実習、一般検査学、一般検査学実習、放射性同位元素学 分子生物学、分子生物学実習、臨床遺伝子検査学、臨床遺伝子検査学実習 生体防御検査学、高感度分析検査学、高感度分析検査学実習 輸血・移植検査学、輸血・移植検査学実習
	形態検査学	微生物検査学、細菌検査学実習、ウイルス・真菌検査学実習、医動物検査学演習 病理病態学演習、病理検査学、病理検査学実習、血液検査学Ⅰ・Ⅱ 血液検査学実習、顕微鏡技術論、写真技術論
	検査情報解析検査学	生体画像情報検査学、生体制御機能検査学、生体機能検査学実習Ⅰ・Ⅱ 臨床医学Ⅰ・Ⅱ、病態生理機能検査学、病態代謝機能検査学 検査精度保証管理学、検査分析システム学、検査情報解析学 臨床検査管理運営学
	総合検査学	検査学概論、臨床検査学体験実習、基礎検査技術学演習、専門ゼミナール 臨床検査関係法規、先端医療技術学、医療安全管理学、検診検査学 救急医学概論、生殖補助医療技術論、リスクマネジメント、遺伝子分析科学 健康食品学、健康食品学関係法規、卒業研究
	臨地実習	臨床検査総論臨床実習、病理組織細胞学臨床実習、臨床生理検査学臨床実習 臨床化学検査学臨床実習、臨床血液検査学臨床実習 臨床微生物検査学臨床実習、臨床免疫検査学・輸血移植免疫検査学臨床実習

(2) 助産学専攻科

安全で質の高い助産ケアを提供するためには、助産師に「倫理的感応力」、「マタニティケア能力」、「ウィメンズヘルスケア能力」、「専門的自律能力」の4つの基本的能力（コア・コンピテンシー）が必要とされている。助産学専攻科では、これらの能力を修了時に獲得できるよう基礎領域、実践領域、実践関連領域の3領域の授業科目を配置している。

基礎領域では、助産の対象である母子およびその家族や地域について、人間、環境、社会の側面から理解するための科目や、助産学を探究する科目を設け、学生が自主的な学習意欲に基づいて選択履修できるようにしている。実践領域では、助産の実践に必要な基本的な知識・技術を習得するために講義、学内演習、実習を通じて学ぶ必修科目を配置している。実践関連領域では、卓越した助産技術や今日的課題を学ぶための選択科目を配置し、専門的能力の獲得を目指している。

香川県が認定した必修科目を履修することにより、助産師国家試験受験資格以外に受胎調節実地指導員の資格が得られるほか、選択する科目により新生児蘇生法講習会「専門コース」の修了認定を得ることができる。

授業科目

(令和3年4月1日現在)

基礎領域	助産学概論、性と生殖の形態と機能、新生児学・乳幼児学特論Ⅰ 母子と家族の心理、女性と社会学、生殖生命倫理
実践領域	助産診断技術学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・演習、母子保健活動論Ⅰ、助産管理 助産学研究、助産学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
実践関連領域	総合ヘルスケア論、母子保健活動論Ⅱ、新生児学・乳幼児学特論Ⅱ、助産学実習Ⅴ

(3) 保健医療学研究科

＜看護学専攻博士前期課程＞

看護学専攻は、基盤開発看護学、地域看護学、精神保健看護学、療養支援看護学、次世代育成看護学の5領域で構成し、看護実践の質の向上と変革をめざす。

- (1) 基盤開発看護学領域では、あらゆる看護の対象と場における共通基盤である「看護専門職として成長・発展」および「エビデンスに基づく看護」について探求する。
- (2) 地域看護学領域では、地域における今日的課題を考察すると共に、地域で生活する個人・家族・集団および地域を対象とした看護実践において、生活の質の向上に貢献できる看護実践力や方策を探求する。
- (3) 精神保健看護学領域では、メンタルヘルスに健康問題を持つ本人と家族を取り巻く人々が、その人らしい生活が生き生きと送れ、生活の質の向上を支援する看護実践を探求する。
- (4) 療養支援看護学領域では、疾患や加齢により療養しているあらゆる健康レベルの本人や家族を対象として、臨床における対象者の生活の質を高める看護実践・開発を探求する。
- (5) 次世代育成看護学領域では、次世代を育成する看護の観点から、周産期の妊産褥婦を含め広く女性を対象とした健康支援や子どもや家族の発達支援を探求する。

特別研究は、研究課題となる専門領域科目の特論と演習における学習に連動した研究を遂行し、専門性を深く探求した修士論文を完成させる。

(6) 看護学専攻としての専門共通科目

- ① 専門共通科目は、広い視野で看護実践やその課題を捉えられる看護研究の基盤となる12科目「先端医学論」「チーム医療特論」「保健統計学特論」「生命・医療倫理論」「英論文作成概論」「看護理論」「看護と哲学」「質的研究方法論」「量的研究方法論」「地域包括ケア特論」「看護政策特論」「看護教育学特論」を配置する。

授業科目（看護学専攻 博士前期課程）

（令和3年4月1日現在）

専門共通科目			
	先端医学論※ 生命・医療倫理論※ 看護と哲学 地域包括ケア特論	チーム医療特論※ 英論文作成概論 質的研究方法論 看護政策特論	保健統計学特論 看護理論 量的研究方法論 看護教育学特論
専門領域科目			
基盤開発看護学領域	基盤看護学特論	基盤看護学演習	
地域看護学領域	公衆衛生看護学特論	公衆衛生看護学演習	
	在宅看護学特論	在宅看護学演習	
精神保健看護学領域	精神保健看護学特論	精神保健看護学演習	
療養支援看護学領域	臨床実践看護学特論	臨床実践看護学演習	
	老年看護学特論	老年看護学演習	
次世代育成看護学領域	ウィメンズヘルス看護学特論	ウィメンズヘルス看護学演習	
	小児看護学特論	小児看護学演習	
特別研究科目			
	看護学特別研究		

※は臨床検査学専攻と合同授業科目

＜看護学専攻博士後期課程＞

博士後期課程では、実践科学としての看護学に対する深い学識を持つ自律した研究者として、看護実践に役立つモデルを独創的に開発し、研究成果を地域に還元することで、地域の実践の向上と変革に貢献できる教育者又は看護実践の組織的指導者を育成する。

看護学の専門領域は、地域包括ケアの推進に資する看護実践に役立つモデルの開発研究を目指し、「実践開発看護学領域」とする。研究の基盤的知識を養う「専門共通科目」、看護学特別研究につながる「専門科目」と「演習科目」、博士論文を完成させる「特別研究科目」の4つの科目で編成する。「専門科目」の特論、「演習科目」の特別演習の学修を体系的に履修するコースワークが、「特別研究科目」のリサーチワークに統合するように科目を配置した。授業は、人と論理的・対話的に議論することで、組織内で政策提言ができるリーダー能力の育成を意図した展開方法とする。

授業科目（看護学専攻 博士後期課程）

（令和3年4月1日現在）

専攻共通科目			
	看護理論学	看護学発展論	看護研究方法特論
	専門科目		演習科目
実践開発看護学領域	基盤看護科学特論	地域在宅看護科学特論	実践開発看護学特別演習
	精神保健看護科学特論	療養支援看護科学特論	
	次世代育成看護科学特論		
特別研究科目			
	看護学特別研究		

＜臨床検査学専攻博士前期課程＞

博士前期課程は、「病態機能検査学」と「病因解析検査学」の2領域からなり、人々の「健康と自立」の支援を基本理念とした高度専門職業人の養成を教育目標としている。

- (1) 病態機能検査学領域では、神経系、循環器、呼吸器、腎機能など種々の生理機能検査や病理学的・細胞学的検査に基づく病態の解析法について、より専門性を深め、病態を解析・診断するための臨床検査学について学修する。
- (2) 病因解析検査学領域では、病原微生物、生態防御に関わる免疫系、生体の代謝に重要な生化学的マーカー、遺伝子・染色体及びその関連物質等、病気を引き起こす要因について、より専門性を深め、病因を解析するための臨床検査学について学修する。
- (3) 食品などの健康科学分野において、科学的な検証システムの構築などを通して人々の健康志向への対応や、社会医学分野における保健医療福祉に貢献できる方法について学修する。
- (4) 膨大な量の検査情報を効率よく管理し、病態解析や病因解析に有効に利用するための検査情報管理法や検査部の管理運営法についても専門性を深め、検査部門における管理指導的役割について学修する。
- (5) 特別研究は、研究課題となる専門領域科目の特論と演習における学修に連動した研究を遂行し、専門性を深く探究した修士論文を完成とする。

授業科目（臨床検査学専攻 博士前期課程）

（令和3年4月1日現在）

専門共通科目			
	先端医学論※	保健医療福祉論	チーム医療特論※
	生命・医療倫理論※	検査総合管理学	医療情報管理学
	食理学	検査研究方法論	
専門領域科目			
病態機能検査学領域	生体機能検査学特論	生体機能検査学演習	病態解析検査学特論
	病態解析検査学演習	病理病態検査学特論	病理病態検査学演習
	血液病態検査学特論	血液病態検査学演習	
病因解析検査学領域	病原因子検査学特論	病原因子検査学演習	生体防御検査学特論
	生体防御検査学演習	生体化学検査学特論	生体化学検査学演習
	遺伝子検査学特論	遺伝子検査学演習	
特別研究科目			
	臨床検査学特別研究		

※は看護学専攻と合同授業科目

<臨床検査学専攻博士後期課程>

博士後期課程では、博士前期課程における基本理念を発展的に深化、継承し、臨床検査学の高度な専門的能力と広範な専門知識、科学的検証能力、更に英語で研究成果を学界や社会に発信するグローバルな能力を備えた教育者・研究者の育成を目指すために、教育研究の柱は「病態機能検査学領域」と「病因解析検査学領域」の2領域とする。

それぞれの研究領域の研究対象として、病態機能検査学領域では、①さまざまな種類のがんに関する発がんメカニズム解明と病理組織検査や細胞診検査への応用、②食習慣に着目した、食品に含まれる化学物質による神経変性疾患の予防や病態進行の抑制を目指した生化学的・生理学的研究、を含むものとし、病因解析検査学領域では、①細菌感染症の感染メカニズム解明と新たな感染防止策の考案、②様々な疾患の分子病態の解明に基づいた遺伝子関連検査法の問題点とその解決に向けた研究、を含むものとする。

授業科目（臨床検査学専攻 博士後期課程）

（令和3年4月1日現在）

専門共通科目	
	臨床検査学研究方法論
専門領域科目	
病態機能検査学領域	病理病態検査技術論、神経生理機能検査技術論
病因解析検査学領域	病原因子解析検査技術論、遺伝子検査技術論
特別研究科目	
	臨床検査学特別研究Ⅰ、臨床検査学特別研究Ⅱ、臨床検査学特別研究Ⅲ

(4) 実習施設

【保健医療学部】

①看護学科（文部科学省承認施設）

（令和3年4月1日現在）

◎看護学導入実習・看護過程論実習・看護技術論実習

香川県立中央病院、高松赤十字病院、屋島総合病院、香川県済生会病院、高松医療センター（以上、高松市）、香川県立白鳥病院（東かがわ市）、香川大学医学部附属病院（三木町）

◎発達段階別看護論実習Ⅰ（母性看護学）

屋島総合病院、ぼっこ助産院、わはは・ひろば高松、特定非営利活動法人ゆうゆうクラブ（以上、高松市）、さかいで子育て支援センターまるっ子ひろば（坂出市）

◎発達段階別看護論実習Ⅱ（小児看護学）

高松赤十字病院、かがわ総合リハビリテーションセンター、高松市立牟礼保育所、高松市立田井保育所、高松市はらこども園、高松市立太田保育所、高松市立鶴尾保育所、光華幼稚園（以上高松市）

◎発達段階別看護論実習Ⅲ（老年看護学）

屋島総合病院、香川県済生会病院、かがわ総合リハビリテーションセンター（以上、高松市）

◎メンタルヘルス看護論実習（精神保健看護学）

訪問看護ステーションビートかがわ、訪問看護ステーション ANSA（以上、高松市）、三船病院（丸亀市）、就労支援事業所わかたけ、地域活動支援センターわかたけ（以上、坂出市）

◎成人看護学実習

香川県立中央病院、高松赤十字病院（以上、高松市）、香川大学医学部附属病院（三木町）

◎精神看護学実習

香川県立丸亀病院（丸亀市）、福栄なごみの会（東かがわ市）

◎在宅看護学実習

高松訪問看護ステーション、訪問看護ステーションこくぶ、訪問看護ステーションかけはし、訪問看護ステーション・福、訪問看護ステーションQちゃん、訪問看護ステーションなつめ、ゆりかごナースセンター（以上、高松市）、訪問看護ステーションどんぐり、訪問看護ステーションたきのみや（以上、綾川町）

◎地域連携看護学実習

在宅診療敬二郎クリニック、訪問看護ステーションQちゃん（以上、高松市）、まんのう町国民健康保険造田歯科診療所（まんのう町）

◎公衆衛生看護学実習、総合実習（保健師教育課程選択学生）

香川県保健福祉事務所（小豆、東讃、中讃、西讃）及び管内市町
高松市保健所、高松市保健センター、高松市地域包括支援センター、株式会社タダノ（以上、高松市）

◎総合実習

香川県立中央病院、高松赤十字病院（以上、高松市）

②臨床検査学科

◎各臨地実習

香川県立中央病院、高松赤十字病院、高松市立みんなの病院、キナシ大林病院、りつりん病院（以上、高松市）、回生病院（坂出市）、四国こどもとおとなの医療センター（善通寺市）、三豊総合病院（観音寺市）、香川大学医学部附属病院（三木町）

【助産学専攻科】（文部科学省承認施設）

◎助産学実習

香川県立中央病院、高松赤十字病院、屋島総合病院、ぼっこ助産院、高松市保健センター（以上、高松市）、香川大学医学部附属病院（三木町）

※新型コロナウイルス感染症の影響により、実習施設、実習計画が変更されることがある。

(5) 令和3年度 学部・専攻科・大学院 学年暦

前 期								行事
	日	月	火	水	木	金	土	
4					1	2	3	入学式・ガイダンス 4/6 新入生オリエンテーション等 4/7~9 健康診断 4/7午後
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
5	25	26	27	28	29	30	1	GW 5/1~5/5 内科検診（4年生・院生・専攻科生） 5/12 博士前期課程中間報告会 5/19 内科検診（3年生） 5/19 内科検診（2年生） 5/26
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
6	23	24	25	26	27	28	29	内科検診（1年生） 6/2 専攻科前期試験 7/12~7/21 学部2,3年生、臨検4年生前期試験 7/30~8/13 学部1年生前期試験 8/6~8/20 看護4年生前期試験 8/10~8/20 夏季休業 8/23~9/30
	30	31	1	2	3	4	5	
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
7	20	21	22	23	24	25	26	専攻科前期試験 7/12~7/21 学部2,3年生、臨検4年生前期試験 7/30~8/13 学部1年生前期試験 8/6~8/20 看護4年生前期試験 8/10~8/20 夏季休業 8/23~9/30
	27	28	29	30	1	2	3	
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
8	18	19	20	21	22	23	24	専攻科前期試験 7/12~7/21 学部2,3年生、臨検4年生前期試験 7/30~8/13 学部1年生前期試験 8/6~8/20 看護4年生前期試験 8/10~8/20 夏季休業 8/23~9/30
	25	26	27	28	29	30	31	
	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
9	15	16	17	18	19	20	21	専攻科前期試験 7/12~7/21 学部2,3年生、臨検4年生前期試験 7/30~8/13 学部1年生前期試験 8/6~8/20 看護4年生前期試験 8/10~8/20 夏季休業 8/23~9/30
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31	1	2	3	5	
	5	6	7	8	9	10	12	
	12	13	14	15	16	17	19	専攻科前期試験 7/12~7/21 学部2,3年生、臨検4年生前期試験 7/30~8/13 学部1年生前期試験 8/6~8/20 看護4年生前期試験 8/10~8/20 夏季休業 8/23~9/30
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30			

(凡例) : 土・日曜、休日 : 休業日

後 期								行事
	日	月	火	水	木	金	土	
10						1	2	博士後期課程 臨床検査学専攻学術セミナー 橄欖祭 10/16 開学記念日 10/20 (休)
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
11	24	25	26	27	28	29	30	博士後期課程 看護学専攻学術セミナー 冬季休業 12/23~1/3
	31	1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
12	21	22	23	24	25	26	27	博士後期課程 看護学専攻学術セミナー 冬季休業 12/23~1/3
	28	29	30	1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
1	19	20	21	22	23	24	25	博士後期課程 看護学専攻学術セミナー 冬季休業 12/23~1/3
	26	27	28	29	30	31	1	
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
2	16	17	18	19	20	21	22	4年後期試験 1/11~1/14 専攻科 1/24~1/28 1~3年後期試験 2/14~2/25 卒業・修了判定結果提示 (4年生・専攻科生) 修士論文・博士論文発表会 2/17 春季休業 3/1~3/31 修了判定結果提示 (大学院生) 卒業式・修了式 3/9 (案) 進級判定結果提示 (学部1~3年生)
	23	24	25	26	27	28	29	
	30	31	1	2	3	4	5	
	6	7	8	9	10	11	12	
3	13	14	15	16	17	18	19	4年後期試験 1/11~1/14 専攻科 1/24~1/28 1~3年後期試験 2/14~2/25 卒業・修了判定結果提示 (4年生・専攻科生) 修士論文・博士論文発表会 2/17 春季休業 3/1~3/31 修了判定結果提示 (大学院生) 卒業式・修了式 3/9 (案) 進級判定結果提示 (学部1~3年生)
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	1	2	3	4	5	
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	4年後期試験 1/11~1/14 専攻科 1/24~1/28 1~3年後期試験 2/14~2/25 卒業・修了判定結果提示 (4年生・専攻科生) 修士論文・博士論文発表会 2/17 春季休業 3/1~3/31 修了判定結果提示 (大学院生) 卒業式・修了式 3/9 (案) 進級判定結果提示 (学部1~3年生)
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30	31			

令和3年3月現在のものであり、新型コロナウイルス感染症の影響により、行事等が変更または中止となる
ことがある。

(1) 役職員

(令和3年5月1日現在)

学 長	井伊 久美子
副 学 長	國方 弘子
研 究 科 長	
学 生 部 長	平木 民子
図 書 館 長	平川 栄一郎
看 護 学 科 長	片山 陽子
臨床検査学科長	奥田 潤
教 養 部 長	加太 英明
専 攻 科 長	野口 純子
看護学専攻長	高嶋 伸子
臨床検査学専攻長	行正 信康
事 務 局 長	豊島 貴子
事 務 局 次 長	杉 秀和



(速水史朗「人」1999年)

(2) 教職員数

(令和3年5月1日現在、単位：人)

区 分	学長・副学長	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	計
学 長	1						1
副 学 長	1						1
保健医療学部 看護学科		9	8	4	7	1	29
臨床検査学科		5	2	3	4		14
教 養 部		3			1		4
助産学専攻科		1	1	1			3
計(教員)	2	18	11	8	12	1	52

区 分	教 授	特任教授	准教授	講 師	計
保健医療学研究科	[20]	1	[7]	[2]	1 [29]

区 分	事務局長	事務局次長	副主幹	主任	主任主事 主 事	会計年度 任用職員	計
事 務 局	1	1	2	6	2	(6)	12 (6)

合 計							65 (6)
-----	--	--	--	--	--	--	--------

※保健医療学研究科の〔 〕内の人数は学部との兼務者であり、教授には学長及び副学長を含む。
事務局の()内の人数は定数外職員。

(3) 教員の研究内容

【学長・副学長】

領 域	教 員	研 究 内 容
地域看護学	井伊久美子	1. 地域包括ケア推進のための看護提供体制に関する研究 2. 公衆衛生看護活動方法論の構築に関する研究
精神看護学	國方 弘子	1. 認知行動療法を用いた看護介入に関する研究 2. メンタルヘルスに健康問題をもつ人のリカバリーに関する研究 3. さまざまな精神疾患患者またはその近親者や保健医療福祉サービスで働くスタッフの Quality of life に関する研究

【保健医療学部】

①看護学科

領 域	教 員	研 究 内 容
基礎看護学	平木 民子	1. 看護職者の能力開発に関する研究 2. 反省的看護実践に関する研究
	松村 千鶴	1. 看護技術が生体に及ぼす影響に関する研究 2. 簡便で効果的な清潔ケア技術の開発に関する研究
	堀 美紀子	1. 看護師の倫理的行動に関する研究 2. 基礎看護技術における教育方法と効果に関する研究
	小林 秋恵	1. 包括的脳卒中予防の看護実践に関する研究 2. 看護職者の多職種連携協働能力に関する研究
	横井麻衣子	1. 高度医療を要する患者のせん妄に関する研究 2. 看護職者の育成に関する研究
成人看護学	近藤真紀子	1. 病いと共に生きる患者とその家族への支援に関する研究 2. ハンセン病と医療倫理に関する研究 3. 幼い子供をもつがん患者とその家族への支援に関する研究 4. 看護師のグリーフケアに関する研究 5. 看護実践の理論化・概念化に関する研究
	細原 正子	1. がん患者・家族への心理的支援に関する研究 2. 成人看護学教育に関する研究
	岩本 真紀	1. がんサバイバーのストレングスに関する研究 2. がんサバイバーへの意思決定支援に関する研究
	森田公美子	1. がんとともに生きる人の QOL を維持する看護支援に関する研究 2. 乳がん体験者と家族への看護支援に関する研究 3. 外来・在宅でのがん看護のあり方に関する研究 4. がん看護に携わる看護師の看護実践能力の可視化に関する研究
	岡西 幸恵	1. がんサバイバーへの看護支援に関する研究 2. 頭頸部がん患者の看護支援に関する研究
	新井恵津子	1. リンパ浮腫患者の看護支援に関する研究 2. 糖尿病患者の周手術期看護支援に関する研究 3. 術後がん患者間の相互作用に関する研究
母性看護学	松村 恵子	1. 母性意識の構造と発達に関する実証的研究 2. 助産師の専門的な生涯学習の動機づけと発達支援に関する研究 3. 子育て支援の方法に関する研究 ① 安全で安心の妊娠、出産、育児の環境づくりに関する研究 ② 乳幼児虐待予防や母親の育児ストレスの緩和、母乳育児等、子育てにおける文化的背景と性役割に関する研究

領 域	教 員	研 究 内 容
母性看護学	木戸久美子	1. 障がいのある女性の周産期の援助に関する研究 2. 子育て支援に関する研究 3. 父親の産後うつに関する研究 4. 母性看護学および助産学分野における技術教育に関する研究
	植村 裕子	1. 女性の健康支援に関する研究 2. 子育て支援に関する研究 3. 母性看護学教育に関する研究
小児看護学	舟越 和代	1. 障がい児とその家族の看護に関する研究 2. 小児看護学教育に関する研究 3. 子どもの健康行動と認識に関する研究
	三浦 浩美	1. 子どもの健康行動と病気の認識についての研究 2. 小児看護学教育に関する研究 3. 子育て支援についての研究 4. 子どもの感情表出と健康に関する研究
	松本 裕子	1. 先天代謝異常症の子どもとその家族に関する研究 2. 新生児マススクリーニングに関する研究 3. 小児看護学教育に関する研究 4. 子育て支援についての研究
老年看護学	吉本 知恵	1. 高齢者の病院からの移行を支援する看護に関する研究 2. 認知症高齢者の支援に関する研究 3. 老年看護学教育に関する研究
	竹内 千夏	1. 脳卒中後遺症をもつ在宅療養高齢者の自尊感情に関する研究 2. 在宅移行期の看護支援に関する研究
	平井智重子	1. 高齢者の健康支援に関する研究 2. 老年看護学教育に関する研究
在宅看護学	片山 陽子	1. Advance Care Planning (ACP) ・意思決定支援に関する研究 2. エンドオブライフケアに関する研究 3. 訪問看護の可視化に関する研究 4. 在宅ケアを実践する人材育成に関する研究
	岡田 麻里	1. 訪問看護師の地域看取りケアの振り返りに関する研究 2. 頸髄損傷者のセルフマネジメントに関する研究 3. 一人暮らし高齢者の居場所づくりに関する研究 4. 多職種連携のための継続看護マネジメントに関する研究
	諏訪亜季子	1. 重症児（者）と高齢者家族等の多重介護支援に関する研究 2. 難病や障害をもつ児とその家族への子育て支援に関する研究
精神看護学	土岐 弘美	1. 認知症を抱える人や家族の支援に関する研究 2. 精神の病を抱える人や家族の支援に関する研究 3. 看護職者のメンタルヘルスの支援に関する研究
	多田羅光美	1. 精神障がい者の支援に関する研究 2. 精神科看護師の職務満足に関する研究 3. 精神科看護師の Quality of life に関する研究
地域看護学	高嶋 伸子	1. 保健師機能に関する研究 2. 健康増進計画策定・推進に関する研究
	辻 よしみ	1. 保健医療サービスに関する研究 2. 保健師の実践能力に関する研究
	佐々木純子	1. 地域での連携についての研究 2. 在宅ケアに関する研究 3. 訪問看護ステーションの管理運営に関する研究
	植原 千明	1. 保健師の地区活動に関する研究 2. 住民の自主グループ化支援に関する研究

②臨床検査学科

領 域	教 員	研 究 内 容
情報解析検査学	樋本 尚志	1. 肝疾患における自己抗体の臨床的意義 2. 肝疾患における糖・脂質代謝異常と微量元素との関連
	徳原 康哲	1. 先天性代謝異常症の病態・病因・検査法に関する研究 2. 次亜塩素酸ナトリウム五水和物を用いた新規臨床検査法の開発
	大栗 聖由	1. 脳波解析を用いた新たなバイオマーカーの開発 2. 横隔膜超音波検査を用いた呼吸筋に関する研究
	小河 佳織	1. 肩こりにおける新しい生体情報解析法の開発 2. 3D 超音波を用いた胎児の機能に関する研究
形態検査学	平川栄一郎	1. 癌の分子病理診断 2. 癌の浸潤と転移に関する分子機構の解析
	奥田 潤	1. 緑膿菌の内因性血液感染機構の解析 2. III型分泌機構に着眼したエドワジエラ症原因細菌の病原機構解析 3. 感染症検査キットの性能評価に関する研究
	池亀 彰茂	1. 造血器腫瘍に対する新規抗体薬の効果解析 2. 敗血症における単球の機能に関する研究 3. 髄液中白血球に対する簡易検査法の開発
	末澤 千草	1. <i>Edwardsiella tarda</i> の病原性に関する研究 2. 緑膿菌の病原性に関する研究 3. 感染症検査キットの性能評価に関する研究
	森西 起也	1. 癌の分子病理診断 2. 大腸癌における核内受容体を対象とした研究
	近藤 明宏	1. 血液細胞の機能および検査法に関する研究 2. 自動血球分析装置における検査項目の臨床的有用性に関する研究
分析検査学	行正 信康	1. 抗原特異的免疫応答の差異に関する研究 2. 単球・マクロファージにおける免疫機能の多様性に関する研究 3. 新規 B 型肝炎ウイルス感染症関連検査の考案
	多田 達史	1. 糖尿病と動脈硬化に関する臨床的研究 2. 自動分析装置の臨床に関する研究
	太田 安彦	1. 好中球活性化機構の解明・病態との関連性、抗酸化物質の作用 2. 糖尿病患者における DPPIV 阻害剤の影響
	山崎 未来	1. エピゲノム情報に基づく新たなバイオマーカー開発 2. 母体のフルクトース摂取が次世代に及ぼす影響

③教養部

領 域	教 員	研 究 内 容
生命科学	加太 英明	1. 神経変性疾患における活性酸素の役割 2. 天然化学物質の生理活性 3. 環境化学物質の生体への影響
医学英語・ 応用社会科学	南 貴子	1. 海外における生殖補助医療を巡る法制度と家族についての研究 2. 安楽死を巡る法制度についての研究 3. 英語教育
解剖生理学	古山 達雄	1. 脈管形成における寿命関連遺伝子の関与 2. 神経新生における寿命関連遺伝子の関与
	新美 健太	1. 脈管系の発達過程に関する形態的研究 2. 内皮細胞におけるフォークヘッド転写因子の生理学的機能の検討 3. 中枢神経系の発達過程に関する形態的研究

【助産学専攻科】

領 域	教 員	研 究 内 容
助産学	野口 純子	1. 超音波検査と妊婦の健康生活支援に関する研究 2. 子育て支援に関する研究 3. 助産ケアの効果に関する研究 4. 助産学教育に関する研究
	竹内美由紀	1. 助産師のキャリア発達支援に関する研究 2. 思春期に対する育児体験の有効性に関する研究 3. 助産ケアの効果に関する研究 4. 助産学教育に関する研究
	石原 留美	1. 褥婦の健康支援に関する研究 2. 子育て支援に関する研究 3. 性アイデンティティの生涯発達に関する研究 4. 助産学教育に関する研究

【大学院特任】

領 域	教 員	研 究 内 容
療養支援看護学	古川 文子	1. 循環器系疾患に対する予防・療養支援に関する研究 2. 成人・高齢療養者の睡眠中における「寝返り」に関する研究 3. オレムのセルフケア不足看護理論に基づく「モノ」の開発と評価に関する研究 4. 看護理論と研究方法論に関する研究

(4) 教員の研究業績

(期間：令和2年4月～令和3年3月、単位：件)

区 分	学 術 論 文 等										学 会 発 表						主 催 学 会 等	講 演 等
	著 書 〔欧文〕	著 書 〔和文〕	原 著 〔欧文〕	原 著 〔和文〕	総 説 〔欧文〕	総 説 〔和文〕	研究報告 〔欧文〕	研究報告 〔和文〕	その他 〔欧文〕	その他 〔和文〕	国際学会			国内学会				
											特別講演等	シンポジウム等	一般演題	特別講演等	シンポジウム等	一般演題		
看護学科	4	8	6	5		1		2	2	26					2	34	5	62
臨床検査学科			12	3	1			1	1	2			1			12	1	3
教 養 部				1												1		
助産学専攻科			1												1	5		2
合 計	4	8	19	9	1	1		3	3	28			1		3	52	6	67

(1) 入学者選抜試験及び入学者の状況

年度	学科・研究科		試験区分	募集人員 (人以内)	出願者数 (人)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	倍率	入学者数(人)		
									県内	県外	計
令和3年度	保健医療学部	看護学科	推 薦	35	49 (1)	49 (1)	35 (1)	1.4	35 (1)	0 (0)	35 (1)
			一般(前)	25	77 (5)	71 (5)	27 (3)	2.6	13 (2)	11 (1)	24 (3)
			一般(後)	10	126 (7)	40 (3)	13 (1)	3.1	6 (0)	5 (1)	11 (1)
			計	70	252 (13)	160 (9)	75 (5)	2.1	54 (3)	16 (2)	70 (5)
		臨床検査学 科	推 薦	10	16 (4)	16 (4)	10 (1)	1.6	10 (1)	0 (0)	10 (1)
			一 般	10	25 (7)	18 (5)	10 (2)	1.8	0 (0)	10 (2)	10 (2)
			計	20	41 (11)	34 (9)	20 (3)	1.7	10 (1)	10 (2)	20 (3)
		合 計	推 薦	45	65 (5)	65 (5)	45 (2)	1.4	45 (2)	0 (0)	45 (2)
			一 般	45	228(19)	129(13)	50 (6)	2.6	19 (2)	26 (4)	45 (6)
			計	90	293(24)	194(18)	95 (8)	2.0	64 (4)	26 (4)	90 (8)
	助産学専攻科			10	16 (0)	15 (0)	10 (0)	1.5	7 (0)	1 (0)	8 (0)
	保健医療学研究科	看護学専攻 (博士前期課程)	一般選抜 社会人特別選抜	5	4 (0)	4 (0)	4 (0)	1.0	4 (0)	0 (0)	4 (0)
		看護学専攻 (博士後期課程)	一般選抜 社会人特別選抜	2	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1.0	0 (0)	1 (0)	1 (0)
		臨床検査学専攻 (博士前期課程)	一般選抜 社会人選抜	3	4 (2)	4 (2)	4 (2)	1.0	3 (2)	1 (0)	4 (2)
		臨床検査学専攻 (博士後期課程)	一般選抜 社会人選抜	2	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	0 (0)	0 (0)	0 (0)
令和2年度	保健医療学部	看護学科	推 薦	35	59 (5)	59 (5)	35 (1)	1.7	35 (1)	0 (0)	35 (1)
			一般(前)	28	76 (4)	72 (4)	30 (0)	2.4	15 (0)	13 (0)	28 (0)
			一般(後)	7	173 (8)	49 (3)	8 (1)	6.1	2 (0)	5 (1)	7 (1)
			計	70	308 (17)	180 (12)	73 (2)	2.5	52 (1)	18 (1)	70 (2)
		臨床検査学 科	推 薦	10	19 (0)	19 (0)	10 (0)	1.9	10 (0)	0 (0)	10 (0)
			一 般	10	24 (7)	23 (7)	11 (2)	2.1	1 (0)	9 (2)	10 (2)
			計	20	43 (7)	42 (7)	21 (2)	2.0	11 (0)	9 (2)	20 (2)
		合 計	推 薦	45	78 (5)	78 (5)	45 (1)	1.7	45 (1)	0 (0)	45 (1)
			一 般	45	273 (19)	144 (14)	49 (3)	2.9	18 (0)	27 (3)	45 (3)
			計	90	351 (24)	222 (19)	94 (4)	2.4	63 (1)	27 (3)	90 (4)
	助産学専攻科			10	18 (0)	18 (0)	11 (0)	1.6	7 (0)	2 (0)	9 (0)
	保健医療学研究科	看護学専攻 (博士前期課程)	一般選抜 社会人選抜	5	7 (0)	7 (0)	7 (0)	1.0	7 (0)	0 (0)	7 (0)
		看護学専攻 (博士後期課程)	一般選抜 社会人選抜	2	6 (0)	6 (0)	4 (0)	1.2	2 (0)	2 (0)	4 (0)
		臨床検査学専攻 (博士前期課程)	一般選抜 社会人選抜	3	4 (1)	4 (1)	4 (1)	1.0	4 (1)	0 (0)	4 (1)
		臨床検査学専攻 (博士後期課程)	一般選抜 社会人選抜	2	2 (1)	2 (1)	2 (1)	1.0	0 (0)	2 (1)	2 (1)

※ () 内は男子学生(内数)。合格者数には追加合格者数を含む。

(2) 学部・専攻科・大学院在学生の状況

① 学生定員及び在学生数

(令和3年5月1日現在)

区 分		修業 年限	入学定員	収容定員	学 生 数					
					区分	1年	2年	3年	4年	計
保 健 医 療 学 部	看 護 学 科	4年	70人	280人	計	70人	71人	68人	69人	278人
					男	5人	2人	5人	7人	19人
					女	65人	69人	63人	62人	259人
	臨床検査学科	4年	20人	80人	計	20人	20人	22人	16人	78人
					男	3人	2人	3人	5人	13人
					女	17人	18人	19人	11人	65人
	合 計		90人	360人	計	90人	91人	90人	85人	356人
					男	8人	4人	8人	12人	32人
					女	82人	87人	82人	73人	324人
助産学専攻科		1年	10人	10人	計	9人				9人
					女	9人				9人
	看護学専攻 (博士前期課程)	2年	5人	10人	計	4人	11人			15人
					男	0人	0人			0人
					女	4人	11人			15人
	看護学専攻 (博士後期課程)	3年	2人	6人	計	1人	4人	2人		7人
					男	0人	0人	1人		1人
					女	1人	4人	1人		6人
	臨床検査学専攻 (博士前期課程)	2年	3人	6人	計	4人	4人			8人
					男	2人	1人			3人
					女	2人	3人			5人
	臨床検査学専攻 (博士後期課程)	3年	2人	6人	計	0人	1人	1人		2人
					男	0人	0人	1人		1人
					女	0人	1人	0人		1人
	合 計		12人	28人	計	9人	20人	3人		32人
					男	2人	1人	1人		4人
					女	7人	19人	2人		28人

② 退学者の状況

学 科		令和元年度					令和2年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	計	1年次	2年次	3年次	4年次	計
学 部	看 護 学 科	3人	0人	1人	0人	4人	2人	1人	0人	0人	3人
	臨床検査学科	0人	1人	0人	1人	2人	0人	0人	0人	0人	0人
助 産 学 専 攻 科		0人				0人	0人				0人
保健医療学研究科		0人	1人	0人		1人	1人	0人	0人		1人
計		3人	2人	1人	1人	7人	3人	1人	0人	0人	4人

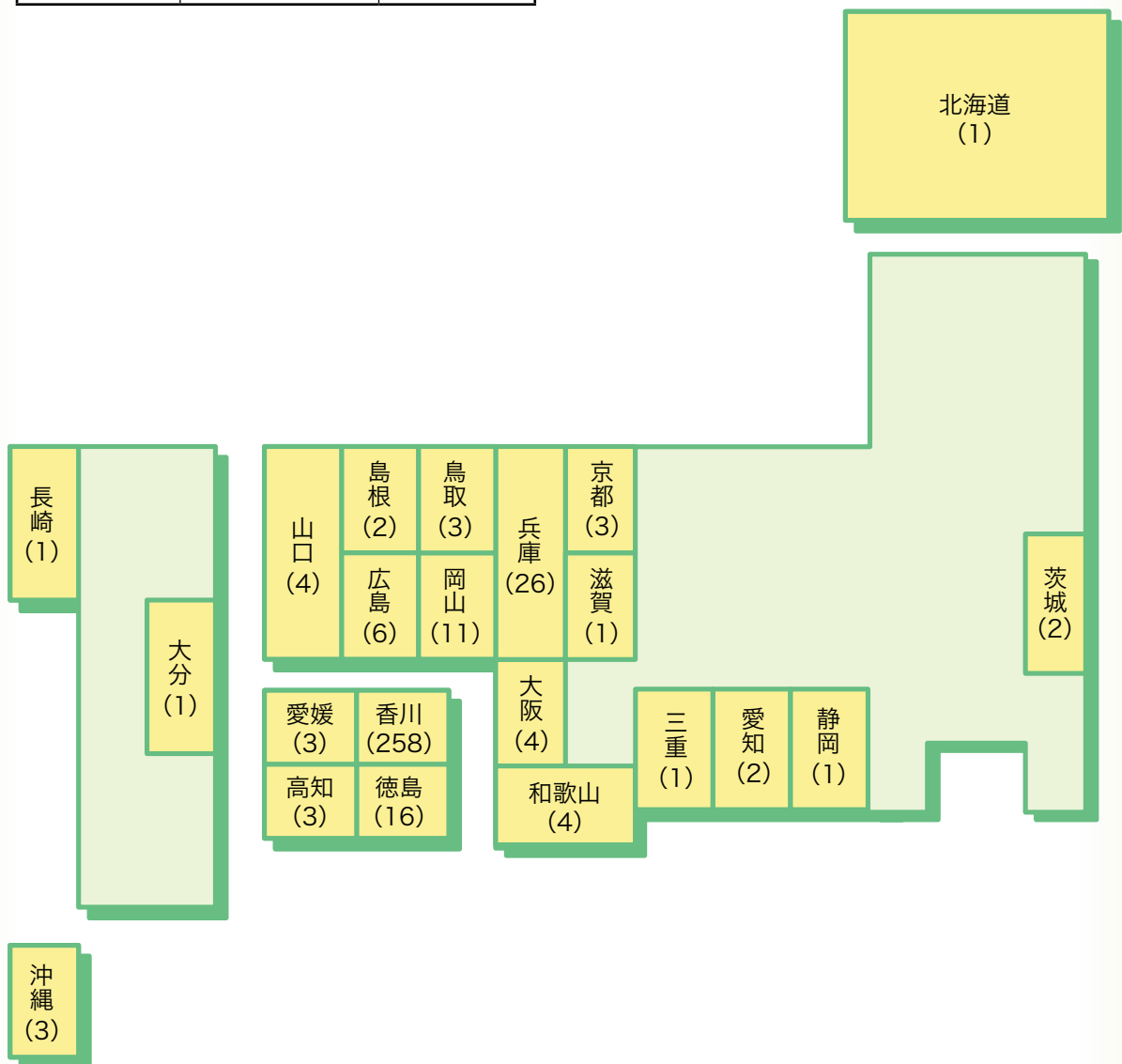
③休学者の状況

学 科		令和元年度					令和2年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	計	1年次	2年次	3年次	4年次	計
学部	看護学科	2人	0人	1人	0人	3人	2人	2人	0人	0人	4人
	臨床検査学科	0人	2人	0人	0人	2人	0人	1人	0人	0人	1人
助産学専攻科		0人				0人	0人				0人
保健医療学研究科		0人	2人	0人		2人	0人	1人	0人		1人
計		2人	3人	1人	0人	6人	2人	4人	0人	0人	6人

(3) 出身県別学部学生数 (令和3年5月1日現在)

(単位：人)

区 分	学部生人数	構成比 (%)
県 内	258	72.5
県 外	98	27.5
計	356	100.0



(4) 令和3年3月卒業生・修了生の進路

学 科 等			看 護 学 科			臨床検査学科	助産学専攻科		保健医療学 研究科	合計
職 種			看護師	保健師	その他	臨床検査技師	看護師	助産師		
就 職	県 内	香川県、香川県立病院	5人	2人		1人	1人			9人
		市町、市町立病院	7人	1人		4人				12人
		国、独立行政法人								
		大学附属病院	8人					2人		10人
		高松赤十字病院	6人			1人		1人		8人
		その他の病院、施設	3人			5人		1人		9人
		小 計	29人	3人		11人	1人	4人		48人
	県 外	都道府県、都道府県立病院 地方独立行政法人	2人	2人		1人				5人
		市町村、市町村立病院 地方独立行政法人	7人	1人				1人		9人
		国、独立行政法人	1人							1人
		大学附属病院	8人							8人
		日本赤十字社関連施設	2人			1人		1人		4人
		その他の病院、施設等	7人	1人		2人		1人		11人
		小 計	27人	4人		4人		3人		38人
	計		56人	7人		15人	1人	7人		86人
現 職 継 続									4人	4人
進 学			6人			3人				9人
そ の 他			2人			2人			1人	5人
合 計			71人			20人	8人		5人	104人

(5) 国家試験の合格状況

区 分	令和元年度			令和2年度		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
看 護 師	64人	64人	100.0%	71人	71人	100.0%
保 健 師	18人	18人	100.0%	21人	21人	100.0%
助 産 師	9人	9人	100.0%	8人	8人	100.0%
臨 床 検 査 技 師	20人	19人	95.0%	20人	18人	90.0%

(6) 奨学生の状況

日本学生支援機構奨学生状況

		令和元年度					令和2年度				
		貸 与				給付	貸 与				給付
		一種	二種	併用	計		一種	二種	併用	計	
看護学科	1年	18人	6人	0人	24人	5人	8人	5人	4人	17人	12人
	2年	17人	6人	6人	29人	4人	17人	6人	0人	23人	10人
	3年	18人	10人	1人	29人	0人	17人	5人	6人	28人	10人
	4年	13人	7人	1人	21人	0人	18人	10人	1人	29人	7人
臨床検査学科	1年	2人	4人	1人	7人	1人	2人	1人	2人	5人	4人
	2年	5人	2人	0人	7人	0人	2人	4人	1人	7人	1人
	3年	2人	2人	1人	5人	0人	4人	1人	0人	5人	2人
	4年	3人	1人	1人	5人	0人	2人	1人	1人	4人	1人
助産学専攻科		2人	0人	0人	2人		1人	1人	1人	3人	
保健医療学研究科	1年	0人	1人	0人	1人		3人	0人	0人	3人	
	2年	1人	0人	0人	1人		0人	1人	0人	1人	
	3年	0人	0人	0人	0人		0人	0人	0人	0人	
計		81人	39人	11人	131人	10人	74人	35人	16人	125人	47人

(7) 学生相談

学生相談室利用状況

施設の名称：学生相談室

開 室 時 間：予約制

ス タ ッ フ：臨床心理士 1名（非常勤）、学内相談員 5名（教職員兼務）

年間相談延件数：令和元年度 17件 令和2年度 46件

(8) 課外活動

① サークル活動（令和3年3月現在）

・学生団体名

バレーボールサークル、バドミントンサークル、茶道部、軽音楽サークル、手話サークル、フットサルサークル、吹奏楽サークル、軟式野球サークル、図書サークル（ビブリア）、香川県青年赤十字奉仕団サークル、災害医療サークル、ボルダリングサークル、バスケットボールサークル、ヨガサークル、アウトドアサークル、The ☆ダンスサークル、EIES（English and international Exchange Society）、マンガ研究会、テニスサークル、卓球サークル、写真部、セカンド・ハンド・ユース、ハンドメイドサークル、箏サークル

- ・団体数計 24 団体
- ・サークル登録延人数 261 人
- ・後援会補助金額（予定） 1,200,000 円

② ボランティア活動

(令和元年度)

- ・いいお産の日「沐浴体験」
- ・香川県立高松商業高等学校文化祭「育児体験」
- ・さらスポーツクラブ「未来ある子どもたちにゆめと希望の贈り物」「ふうせんバレー」
- ・小学生のための夏のライフサイエンス教室
- ・はらこども園子育て支援センター「お母さんの健康を測定しよう!」
- ・はらこども園子育て支援センター「ベビーマッサージ&ハンドマッサージ」
- ・防災フェスin丸亀
- ・みのり保育園地域子育て支援センター「ベビーマッサージ&ハンドマッサージ」
- ・牟礼地区小学校(牟礼小・牟礼南小・牟礼北小) ふるさとまつり「健康度測定・健康相談」

(令和2年度)

- ・小学生のための秋のライフサイエンス教室
- ・はらこども園子育て支援センター「歯の健康!」

(以上「五十音順」)

③ その他

◆大学祭

令和元年度

- ・日 時 令和元年10月19日(土) 10:00~17:00
- ・会 場 本学中庭及び学舎
- ・テーマ 和(わ)
- ・実行委員長 上田 勢那
- ・前夜祭 令和元年10月18日(金)

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

◆新入生宿泊研修

令和元年度

- ・日 時 令和元年5月10日(金)~11日(土)
- ・場 所 琴平グランドホテル 紅梅亭

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

図書館の状況

(1) 運営状況

- 開館時間：通 常……9時～21時30分
土曜日……9時15分～13時
長期休業期間中など……9時～17時
短縮開館時……9時～19時
- 休 館 日：日曜、長期休業期間中の土曜日、祝日、資料整理日、
開学記念日（10月20日）、年末年始
- 閲覧室の面積：475㎡
- 座 席 数：閲覧席84席、視聴覚ブース6席
- 収納可能冊数：開 架 4万冊
書 庫 6万冊

(2) 図書館資料の整備状況

（令和2年度末現在）

区 分	図 書（冊）				雑 誌（種）			視聴覚資料 （点）
	和 書	洋 書	小 計	蔵書 合計	購入 和雑誌	購入 洋雑誌	オンライン ジャーナル	
受入数	1,980	37	2,017	78,863	99	1	4	1,754

(3) 利用状況（令和2年度）

開館日数：232 日

貸出冊数				貸出人数			
学 生	教職員	学外者	合 計	学 生	教職員	学外者	合 計
5,277冊	1,742冊	104冊	7,123冊	2,631人	796人	60人	3,487人

相互利用		参考調査
依 頼	受 付	
566件	129件	695件

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月25日から5月6日は休館した。また、土曜日を休館とし、学外者の利用期間を4月1日から4月13日及び6月1日から9月11日の間のみとした。

(1) 地域連携推進センター事業

【地域住民交流事業】

①健康サポーター養成講座

- 日時 令和2年8月～11月
- 場所 保健医療大学
- 内容 講義1「ボランティア活動とは何か、ボランティア活動のための基本姿勢」
講義2「健康教育のコツ」
健康課題をテーマにした企画・ポスター作成、発表
健康測定等フィールド活動

②ふるさと学習

- 日時 令和2年10月27日(火)、11月9日(月)、11月11日(水)
- 場所 牟礼南小学校
- 内容 ふるさと学習「ハンセン病について学ぼう」

③小学生のための秋のライフサイエンス教室

- 日時 令和2年11月22日(日)
- 場所 保健医療大学
- 内容 体験学習
Aコース「音（超音波）を体験しよう！」
Bコース「ICT・IOTを体験しよう！」

【専門職支援事業】

①かがわメンタルヘルス研究会

- 日時 令和2年9月16日(水)、11月18日(水)
- 場所 保健医療大学
- 内容 講演会、事例検討会
テーマ「私のリカバリー」
「保健師による地域移行支援」

②地域子育て支援研究会

- 日時 令和2年7月10日(金)
- 場所 高松市はらこども園子育て支援センター「にこにこキッズセンター」
- 内容 ミニ講座、子育て健康相談

③地域の魅力づくりのための保健・医療・福祉スタッフへの支援事業

- 日時 令和3年2月7日(日)
- 内容 セミナー（Web開催）
テーマ「みんなでハッピーに！地域で支える子どもの健康」

④たまも臨床看護研究会

- 日時 令和3年2月20日(土)～3月10日(水)
- 内容 セミナー（Web開催）
テーマ「ストレングス理論」

(2) 公開講座 ～ テーマ『健やかに生きよう』～

【第1回】 令和2年11月9日(月)

本学大講義室

講 座 内 容	講 師	参加者数
がんの予防と検診のきほん	講 師 森田公美子	58 人
知って得する！血液検査、尿検査の前にやってはいけないこと ー正しい検査結果を得るためにー	准教授 池亀 彰茂	
知って得する！新型コロナウイルス感染対策		

(3) 施設開放

①見学受け入れ

	小学校	中学校	高等学校	計
令和元年度	0件	0件	4件	4件
令和2年度	0件	0件	0件	0件

②施設貸出

	テニスコート	グラウンド	大講義室	一般講義室	体育館
令和元年度	0件	66件	3件	6件	0件
令和2年度	0件	86件	0件	0件	0件

③図書館学外者利用

	入館者数	貸出者数	貸出冊数
令和元年度	949人	670人	1,151冊
令和2年度	97人	60人	104冊

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月25日から5月6日は休館した。また、土曜日を休館とし、学外者の利用期間を4月1日から4月13日及び6月1日から9月11日の間のものとした。

(4) オープンキャンパス (Web 開催)

- 日時 第1回 令和2年8月1日(土) 12:30～14:00 145名参加
- 第2回 令和2年9月12日(土) 12:30～14:00 40名参加

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大学祭併催のミニオープンキャンパスは中止

(5) 高校等への出張講座 (令和2年度) (延べ人数)

高校等へ出向いた本学教員数 看護学科11人、臨床検査学科3人

(6) 委員等への就任及び講師等の派遣 (令和2年度) (延べ回数)

	看護学科	臨床検査学科	教養部	助産学専攻科	学長・副学長	計
国・県・市町の審議会及び関係諸団体の委員・役員等への就任	56	5	0	4	2	67
講演・研修の講師等 (非常勤講師は除く。)	86	4	0	11	4	105

(7) 情報公開

①情報公開条例に基づく情報公開請求

令和元年度請求 0件 令和2年度請求 0件

②個人情報保護条例に基づく入学試験の口頭による開示請求

令和2年度入学試験 59件 令和3年度入学試験 67件

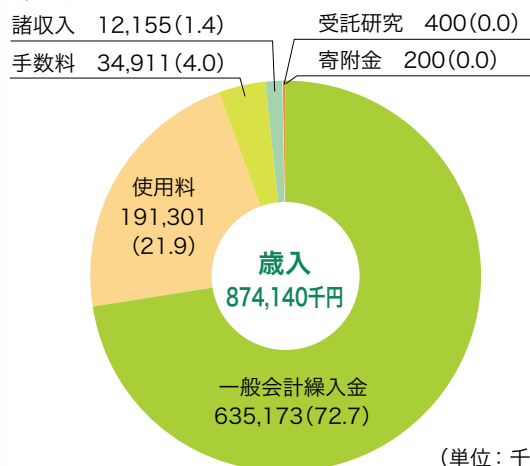
財務状況

(1) 令和3年度 歳入歳出予算

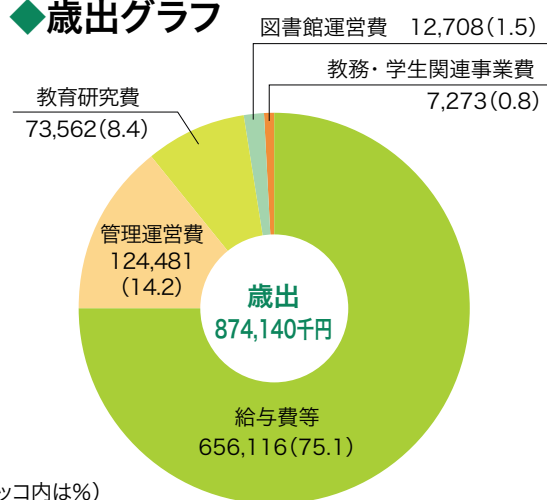
歳入	科目等		金額
	使用料	授業料等	191,301千円
	手数料	入学選考料、入学金等	34,911千円
	寄附金		200千円
	諸収入		12,155千円
	受託研究		400千円
	一般会計繰入金		635,173千円
	歳入合計		874,140千円

歳出	科目等		金額
	給与費等		656,116千円
	管理運営費		124,481千円
	教育研究費		73,562千円
	図書館運営費		12,708千円
	教務・学生関連事業費		7,273千円
	歳出合計		874,140千円

◆歳入グラフ



◆歳出グラフ



(2) 外部資金の受け入れ状況

区分	令和2年度			
	新規申請	採 択		金額
		新規	継続	
科学研究費助成事業	19件	6件	13件	28,990千円
厚生労働科学研究費補助事業			1件	12,000千円
国立研究開発法人科学技術振興機構からの受託研究			1件	1,690千円
奨学寄附金			7件	1,500千円
受託研究			1件	400千円
学外共同研究			3件	3,612千円

10 施設の状況

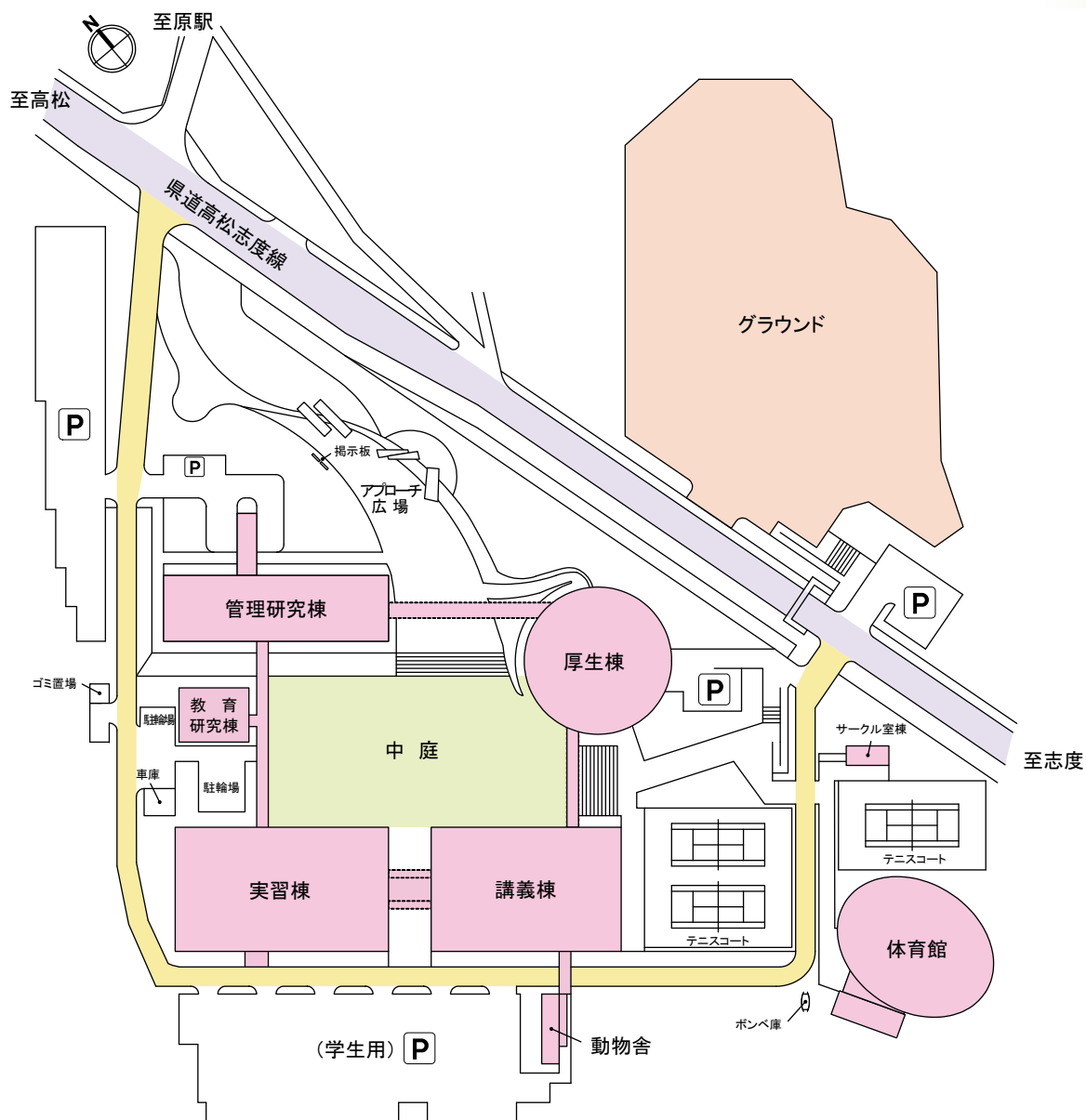
(1) 敷地面積

50,750.56㎡（校舎敷地 38,173.56㎡、運動場用地 12,577㎡）

(2) 建 物

区 分		用 途	面 積
管理研究棟		学長室、副学長室、研究室、事務室、会議室、講師控室、保健室、学生相談室、応接室等	2,653.50㎡
教育研究棟		進路相談室、教材研究準備室、印刷室等	243.90㎡
講義棟	1・2階	講義室、情報処理教室等	4,718.55㎡
	3階	大講義室、臨床検査学科研究室等（実習室、準備室、顕微鏡観察室等）	
実習棟	1・2階	看護学科研究室等（実習室、準備室、展示室等）、学生更衣室	5,005.20㎡
	3階	臨床検査学科研究室等（実習室、準備室、標本室等） 大学院生研究室	
厚生棟		図書館、学生ホール・食堂、サークル室、音楽室、和室等	1,982.15㎡
体育館		アリーナ、ステージ、シャワー室、更衣室、器具庫等	1,168.05㎡
動物舎		飼育室、実験室等	99.40㎡
サークル室棟		サークル室、倉庫等	62.24㎡
車庫			54.42㎡
駐輪場			100.78㎡
ゴミ置場			26.71㎡
ガスボンベ庫			5.83㎡
計			16,120.73㎡

(3) 建物配置図



11.研究活動（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

2020年度研究業績（著書）

所属	研究者	年度	和文・英文	書名・タイトル	記述ページ	原著名・編者 （訳本の場合）	出版社	出版地 （都道府県名）	出版年月
看護学科	Makiko Kondo, Mikako Yamaberi, Hitomi Yamao, Masato Muguruma, Kayoko Furochi, Shiho Oka and Aiko Matsushita	2020	英文	Spirituality and Hansen's Disease: Spirituality' Conceptual Structure and Hansen's Disease History - Part Two	https://www.intechopen.com/books/quality-of-life-biopsychosocial-perspectives/spirituality-and-hansen-s-disease-spirituality-conceptual-structure-and-hansen-s-disease-history-p-1 DOI: 10.5772/intechopen.92641	Floriana Irtelli (Ed.) Quality of life-Biopsychosocial Perspectives	In Tech Open	London	
看護学科	Makiko Kondo, Sachie Okanishi, Etsuko Arai, Kumiko Morita, Maki Iwamoto and Masako Hosohara	2020	英文	(章タイトル) The Moment of Establishing Transpersonal Caring in a Grieving Adolescent Daughter beside Her Mother's Deathbed and Hansen's Disease Survivors Sharing Their Life Review.	DOI: 10.5772/intechopen.92641	(編者) Makiko KONDO(Ed.) ; (書名) Empathy Study	In Tech Open	London	
看護学科	Makiko Kondo(Ed.)	2020	英文	Empathy Study			In Tech Open	London	
看護学科	Makiko Kondo, Mikako Yamaberi, Hitomi Yamao, Masato Muguruma, Kayoko Furochi, Shiho Oka and Aiko Matsushita	2020	英文	(章タイトル) Spirituality and Hansen's Disease: Spirituality' Conceptual Structure and Hansen's Disease History - Part One	https://www.intechopen.com/books/quality-of-life-biopsychosocial-perspectives/spirituality-and-hansen-s-disease-spirituality-conceptual-structure-and-hansen-s-disease-history-par	Floriana Irtelli (Ed.) Quality of life-Biopsychosocial Perspectives	In Tech Open	London	
看護学科	國方 弘子	2020	翻訳	ストレングスにもとづく看護ケア 第3巻 実践編	p45-81	Strengths-Based Nursing Care	看護の科学社	東京	2020年8月10日
看護学科	片山陽子	2020	和文	新型コロナウイルス：ナースたちの現場レポート：COVID-19と人生会議/ACP	619-626	日本看護協会出版会編集部	日本看護協会出版会	東京	2021.3月
看護学科	諏訪亜季子	2020	和文	厚生労働省 令和元年度障害者総合福祉推進事業 医療的ケア児者とその家族の生活実態調査 報告書	244-246	三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング	公式HP掲載 https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2020/05/koukai_200520_1_1.pdf	東京	2020年4月12日
看護学科	土岐 弘美	2020	和文	看護師国試 2021 ラビッドスタディ	P166-178 P312-326	法橋尚宏編著	EDITEX	東京	2020年8月31日
看護学科	竹内 千夏	2020	和文	看護師国試 2021 ラビッドスタディ	P166-178 P312-326	法橋尚宏編著	EDITEX	東京	2020年8月31日
看護学科	岡西 幸恵	2020	和文	看護師国試 2021 ラビッドスタディ	P183-197	法橋尚宏編著	EDITEX	東京	2020年8月31日
看護学科	新井恵津子	2020	和文	看護師国試 2021 ラビッドスタディ	62-66, 204-211	法橋尚宏編著	EDITEX	東京	

2020年度研究業績（原著等）

所属	研究者	年度	区分	和文・英文	タイトル	掲載誌名	巻（号）	記述ページ	発行年
看護学科	森 貴弘、國方弘子、多田達史、和田晋一	2020	研究報告	和文	新人看護師の自己効力感に対する認知行動療法アプローチの効果：パイロット研究	日本精神保健看護学会誌	29(1)	p 33-41	2020
看護学科	吉本知恵、竹内千夏、平井智重子	2020	研究報告	和文	孫である看護大学生にインタビュースされたライフレビューブックを読んだ高齢者の思い	日本看護福祉学会誌	26(2)	135-143	2020
看護学科	<u>Kumiko MORITA</u> , <u>Makiko KONDO</u>	2020	原著	英文	Coping process against familial breast cancer by second patients within blood relatives	Journal of Japanese Society of Nursing Research	43 (4) doi.org/10.15065/jjsnr.20200226089	715-731	2020
看護学科	Kumiko Kido, Akemi Mitani, Yuko Uemura, Masako Okano, Keiko Matsumura	2020	原著	英文	The prevalence and relevant factors of paternal depression during a partners' pregnancy in Japan	International Journal of Nursing and Midwifery	12(4)	120-129	2020
看護学科	Chizuru Matsumura	2020	原著	英文	Comparison of Effects of Complete Bed Baths Using Synthetic Towels with Different Surface Coarseness Levels	Journal of Kagawa Prefectural University of Health Sciences	12	P7-18	2021
看護学科	<u>Hiroko Kumikata</u> , Naoki Yoshinaga, Kensuke	2020	原著	英文	Clinical and cost-effectiveness of nurse-led cognitive behavioral group therapy for recovery of self-esteem among individuals with mental disorders: A single-group pre-post study.	Japan Journal of Nursing Science		DOI: 10.1111/jjns.123	2020
看護学科	Michiko ISHIDA, <u>Hiroko KUNIKATA</u> , Wataru	2020	原著	英文	Self-harm Behaviors among Japanese High School Students: Chronological Changes at the Individual and Group Levels in a Provincial City Area of Japan.	Kawasaki Journal of	26(1)	p1-8	2020
看護学科	<u>Chiaki Uehara</u> , Nobuyuki Miyatake, Shuhei Hishii, Hiromi Suzuki, Akihiko Katayama.	2020	原著	英文	Seasonal Changes in Continuous Sedentary Behavior in Community-Dwelling Japanese Adults: A Pilots Study.	Medicines	7(9)	E48	2020
看護学科	余傳節子、國方弘子	2020	原著	和文	地域で生活する精神障害者が「自己有用感」を回復するプロセス	日本看護研究学会雑誌	43(1)	p 99-108	2020

2020年度研究業績（原著等）

所属	研究者	年度	区分	和文・英文	タイトル	掲載誌名	巻（号）	記述ページ	発行年
看護学科	多田羅光美、國方弘子	2020 原著		和文	看護職の自尊感情と達成動機ならびに自己効力感の関連と関連要因－精神科看護職と一般科看護職の比較	インターナショナル Nursing Care Research	19(1)	p 55-64	2020
看護学科	今井多樹子、岡田麻里、高瀬美由紀	2020 原著		和文	新人看護師が複数の患者を同時に受け持つ体制下で直面する多重課題対応不全を生み出す因子－KJ法を活用した新人看護師の面接内容の構造化から－	日本質的心理学会	19(19)	P141-157	2020
看護学科	小出恵子、岡本玲子、岡田麻里	2020 原著		和文	乳幼児の甘味飲料摂取に対する保健医療専門職である母親の対応	日本地域看護学会誌	23(2)	P4-11	2020
看護学科	竹内千夏、黒島あゆみ、谷芽美	2020 原著		和文	脳血管疾患をもつ高齢患者への生活の視点に基づく退院支援の構造－回復期リハビリテーション病棟看護師に焦点を当てて－	日本リハビリテーション看護学会誌	10	51-60	2021
看護学科	國西幸恵、藤田佐和	2020 総説		和文	調和の概念分析-がんサバイバーへの看護実践・研究における概念活用の有様-	高知女子大学看護学会誌	45(2)	1-14	2020
看護学科	Kuzuya Masafumi, Aita Kaoruko, Katayama Yoko, Katsuya Tomohiro, Nishikawa Mitsunori, Hirahara Satoshi, Miura Hisayuki, Rakugi Hiromi, Akishita Masahiro	2020 その他	英文		The Japan Geriatrics Society Subcommittee on End-of-Life Issues/Japan Geriatrics Society "Recommendations for the Promotion of Advance Care Planning"	Geriatrics and Gerontology International	20(11)	1024-1028	2020
看護学科	Masafumi Kuzuya, Kaoruko Aita, Yoko Katayama, Tomohiro Katsuya Mitsunori Nishikawa, Satoshi Hirahara, Hisayuki Miura, Madoka Yanagawa, Hidenori Arai, Katsuya Iijima, Jiro Okochi, Koichi Kozaki, Yasuhiro Yamaguchi, Hiromi Rakugi, Masahiro Akishita	2020 その他	英文		The Japan Geriatrics Society consensus statement recommendations for older persons to receive the best medical and long-term care during the COVID-19 outbreak—considering the timing of advance care planning implementation"	Geriatrics and Gerontology International	20(12)	1112-1119	2020
看護学科	國方弘子、大嶋伸雄、前田初代、嶋宏美、猪俣	2020 その他	和文		拡大する C B T 実践者の育成	認知療法研究	13(2)	p 144-153	2020
看護学科	國方弘子	2020 その他	和文		自尊心回復グループセラピーにみるリカバリー	日本精神保健看護学会誌	29	p14-19	2021

2020年度研究業績（原著等）

所属	研究者	年度	区分	和文・英文	タイトル	掲載誌名	巻（号）	記述ページ	発行年
看護学科	岡田佳詠、吉永尚紀、國方弘子、中村聡美、中村聡子	2020	その他	和文	エビデンスを「つくる」「つたえる」「つかう」－量的・質的・混合研究法の課題－	認知療法研究	14(1)	p1-10	2021
看護学科	水馬朋子、沖西紀代子、場垣内優子、岡田麻里	2020	その他	和文	保健師課程を選択した学生を対象にした地域診断の教育方法に関する研究	県立広島大学総合支援センター紀要	5	P59-66	2020
看護学科	岡田麻里、松森直美、岡田淳子、青井聡美、日守美穂	2020	その他	和文	地域を主体とした多職種連携による地域包括ケアシステムの推進と課題探究型地域創生人材育成をめざした実践力・研究力・教育力の強化	県立広島大学総合支援センター紀要	5	P105-112	2020
看護学科	岡田麻里、片山陽子、諏訪亜季子	2020	その他	和文	対語型オンライン学修を用いた在宅看護学実習の取り組みと評価－COVID-19感染予防対策を契機に実装した教育システム発展のために－	香川県立保健医療大学雑誌	12	P57-65	2021
看護学科	孫陽純、植原千明、辻よしみ、高嶋伸子	2020	その他	和文	韓国におけるフレイル研究の動向に関する文献検討	香川県立保健医療大学雑誌	12	41-48	2021
看護学科	植原千明、片山昭彦、菱井修平、鈴木裕美、宮武伸行	2020	その他	和文	域在住成人を対象とした連続座位行動と精神的健康度との関連	香川県立保健医療大学雑誌	12	33-39	2021
看護学科	片山陽子	2020	その他	和文	地域包括ケアとACP	老年内科	2 (5)	563-568	2020
看護学科	片山陽子	2020	その他	和文	地域におけるACPの実践：アドバンスケアプランニング希望に沿った人生最終段階の医療・ケアのために	Aging & Health	第96号	P10-13	2021
看護学科	片山陽子	2020	その他	和文	さらに究める実践力：これならできれう毎日の実践で活かすACP (Vol.1)はじめてのACP	月刊ケアマネジャー	22 (4)	60-63	2020
看護学科	片山陽子	2020	その他	和文	さらに究める実践力：これならできれう毎日の実践で活かすACP (Vol.2)価値観の理解 言葉にならない声を聴く	月刊ケアマネジャー	22 (5)	64-67	2020
看護学科	片山陽子	2020	その他	和文	さらに究める実践力：これならできれう毎日の実践で活かすACP (Vol.3)言葉に込められた意味を汲み取る	月刊ケアマネジャー	22 (6)	66-69	2020
看護学科	片山陽子	2020	その他	和文	さらに究める実践力：これならできれう毎日の実践で活かすACP (Vol.4)ACP開始のタイミン	月刊ケアマネジャー	22 (7)	64-67	2020

2020年度研究業績（原著等）

所属	研究者	年度	区分	和文・英文	タイトル	掲載誌名	巻（号）	記述ページ	発行年
看護学科	片山陽子	2020	その他	和文	さらに究める実践力：これならで き う 毎日の実践で活かすACP（Vol.5） 本人の揺れ動く気持ちに添うACP の実践	月刊ケアマネジャー	22（8）	64-67	2020
看護学科	片山陽子	2020	その他	和文	さらに究める実践力：これならで き う 毎日の実践で活かすACP（Vol.6） 家族の思いの揺れとズレに対処す る	月刊ケアマネジャー	22（9）	64-67	2020
看護学科	片山陽子	2020	その他	和文	さらに究める実践力：これならで き う 毎日の実践で活かすACP（Vol.7） 本人にとっての最善を考える	月刊ケアマネジャー	22（10）	62-65	2020
看護学科	片山陽子	2020	その他	和文	さらに究める実践力：これならで き う 毎日の実践で活かすACP（Vol.8） 意思表明を妨げる壁を取り除く	月刊ケアマネジャー	22（11）	62-65	2020
看護学科	片山陽子	2020	その他	和文	さらに究める実践力：これならで き う 毎日の実践で活かすACP（Vol.9） 認知症の人へのACP	月刊ケアマネジャー	22（12）	62-65	2020
看護学科	片山陽子	2020	その他	和文	さらに究める実践力：これならで き う 毎日の実践で活かすACP（Vol.10） 代弁者の選定と支援	月刊ケアマネジャー	23（1）	62-65	2021
看護学科	片山陽子	2020	その他	和文	さらに究める実践力：これならで き う 毎日の実践で活かすACP（Vol.11） 多職種チームの合意形成	月刊ケアマネジャー	23（2）	62-65	2021
看護学科	片山陽子	2020	その他	和文	さらに究める実践力：これならで き う 毎日の実践で活かすACP（Vol.12） 看取った後の家族の納得感を高 める	月刊ケアマネジャー	23（3）	62-67	2021
看護学科	片山陽子	2020	その他	和文	すべての看護師にとつての「地域・ 在宅看護論」すべての看護師が身 に着けたい目標志向型の考え方	看護教育	61（6）	0478-0486	2020
看護学科	新井恵津子、近藤真紀子	2020	その他	和文	シミュレーション教育を活用した成 人看護学実習演習における学習 効果の検討	日本シミュレーション 医療教育学会雑誌	9 in print		2021

2020年度研究業績（原著等）

所属	研究者	年度	区分	和文・英文	タイトル	掲載誌名	巻（号）	記述ページ	発行年
看護学科	諏訪亜季子	2020	その他	和文	子どものEnd of Lifeと「こどもホスピス」実践編 End of Life Careを支える仕組みづくり；世代を超え地域をつなぐ。	小児看護	43 (11)	1416-1424	2020
看護学科	諏訪亜季子、高橋昭彦、清水孝浩	2020	その他	和文	令和元年度障害者総合福祉推進事業医療的ケア児者とその家族の生活実態調査から診えた現状と課題	月刊難病と在宅ケア	26 (10)	10-14	2021
教養部	南 貴子	2020	原著	和文	オーストラリアにおける自発的助死死法をめぐる課題	オーストラリア研究	34	14-29	2021
助産学専攻科	Rumi Ishihara, Keiko Nagamine, Yoshie Nishikawa, Mari Haku, Hirokazu Uemura, Yukie Matsuura, Toshiyuki Yasui	2020	原著	英文	Transition of Depressive Symptoms and Anxiety Symptoms According to Parity and Associations of These Symptoms with Feelings for Involvement with Newborn Infants during a 6-Month Postpartum Period	Open Journal of Obstetrics and Gynecology	10 DOI:10.4236/ojog.2020.1090121	1315-1330	2020
臨床検査学科	大栗聖由、上原一剛、秋山翔太、池口拓哉、佐々木強、丸本恵、仲山裕美子、前垣義弘	2020	研究報告	和文	脳波検査電極配置用シミュレータの学生への教育的効果	臨床検査学教育	12 (2)	184-189	2020
臨床検査学科	Takashi Himoto, Keiko Miyatake, Takashi Maeba, Tsutomu Masaki	2020	原著	英文	Verification of the nutritinal and dietary factors associated with skeletal muscle index in Japanese patients with nonalcoholic fatty liver disease.	Can J Gastroenterol Hepatol	doi : 1155/2020/357967 4		2020
臨床検査学科	Yukimasa N, Kanaoka Y, Okito M, Oboshi W, Sato S, Yamazaki M, Nakamura T	2020	原著	英文	Differences in cytokine gene expression after a stimulation with Escherichia coli and Porphyromonas gingivalis or lipopolysaccharides derived from these bacteria	J Life Sci Res	7 (1) doi: 10.20448/journal.504.2020.71.13.20	13-20	2020
臨床検査学科	Oboshi W, Hayashi K, Takeuchi H, Ikeda K, Yamaguchi Y, Kimura A, Nakamura T, Yukimasa N	2020	原著	英文	MicroRNA-150 suppresses p27Kip1 expression and promotes cell proliferation in HeLa human cervical cancer cells.	Oncolog Lett	20: 210, 2020 doi: 10.3892/ol.2020.12073		2020

2020年度研究業績（原著等）

所属	研究者	年度	区分	和文・英文	タイトル	掲載誌名	巻（号）	記述ページ	発行年
臨床検査学科	Fujii R, Yamada H, Munetsuna E, <u>Yamazaki M</u> , Mizuno G, Ando Y, Maeda K, Tsuboi Y, Ohashi K, Ishikawa H, Hagiwara C, Wakai K, Hashimoto S, Hamajima N, Suzuki K.	2020 原著		英文	Dietary fish and n-3 polyunsaturated fatty acids are associated with leukocyte ABCA1 DNA methylation levels.	Nutrition.	81	110951-110957	2020
臨床検査学科	Suzuki K, Yamada H, Fujii R, Munetsuna E, Ando Y, Ohashi K, Ishikawa H, <u>Yamazaki M</u> , Maeda K, Hashimoto S, Hamajima N.	2020 原著		英文	Association between circulating vascular-related microRNAs and an increase in blood pressure: a 5-year longitudinal population-based study.	J Hypertens.			2020
臨床検査学科	Maeda K, Yamada H, Munetsuna E, Fujii R, <u>Yamazaki M</u> , Ando Y, Miuno G, Ishikawa H, Ohashi K, Tsuboi Y, Hashimoto S, Hamajima N, Suzuki K.	2020 原著		英文	Association of Smoking Habits With TXNIP DNA Methylation Levels in Leukocytes Among General Japanese Population.	PLoS One.	15 (7)	e0235486	2020
臨床検査学科	<u>Yamazaki M</u> , Munetsuna E, Yamada H, Ando Y, Mizuno G, Fujii R, Nouchi Y, Kageyama I, Teshigawara A, Ishikawa H, Suzuki K, Simono Y, Hashimoto S, Ohashi K.	2020 原著		英文	Maternal fructose consumption down-regulates Lxra expression via miR-206-mediated regulation.	J Nutr Biochem.	82	108386-108394	2020
臨床検査学科	<u>Oguri M</u> , Okanishi T, Kanai S, Baba S, Nishimura M, Ogo K, Himoto T, Okanari K, Maegaki Y, Enoki H, Fujimoto A	2020 原著		英文	Phase Lag Analyses on Ictal Scalp Electroencephalography May Predict Outcomes of Corpus Callosotomy for Epileptic Spasms	Front Neurol	doi:10.3389/fneur.2020.576087. eCollection		2020
臨床検査学科	Nomura T, Nomura Y, <u>Oguri M</u> , Hirooka Y, Hanajima R	2020 原著		英文	Olfactory function deteriorates in patients with Parkinson's disease complicated with REM sleep behavior disorder	eNeurologicalSci	doi: 10.1016/j.ensci.2020.100261. eCollection		2020
臨床検査学科	Kanai S, Okanishi T, Nishimura M, <u>Oguri M</u> , Enoki H, Maegaki Y, Fujimoto A	2020 原著		英文	Insufficient Efficacy of Corpus Callosotomy for Epileptic Spasms With Biphasic Muscular Contractions	Front Neurol	doi: 10.3389/fneur.2020.100232. eCollection		2020
臨床検査学科	Yamada H, Ohno K, Shiota M, Togawa M, Utsunomiya Y, Akaboshi S, Tsuchie H, Okada T, <u>Oguri M</u> , Higami S, Noma H, Maegaki Y.	2020 原著		英文	Prevalence and clinical characteristics of children with medical complexity in Tottori Prefecture, Japan: A population-based longitudinal study	Brain Dev	42(10)	747-755	2020

2020年度研究業績（原著等）

所属	研究者	年度	区分	和文・英文	タイトル	掲載誌名	巻（号）	記述ページ	発行年
臨床検査学科	Oguri M, Okanishi T, Kanai S, Baba S, Nishimura M, Ogo K, Himoto T, Okanari K, Maegaki Y, Enoki H, Fujimoto A	2020	原著	英文	Phase Lag Analyses on Ictal Scalp Electroencephalography May Predict Outcomes of Corpus Callosotomy for Epileptic Spasms	Front Neurol	doi:10.3389/fneur.2020.576087. eCollection		2020
臨床検査学科	大栗聖由、松浦由香、池口拓哉、高森稔弘、 <u>小河佳織</u> 、榎本尚志、前垣義弘	2020	原著	和文	液晶ディスプレイを用いたPattern Reversal Visual Evoked Pontentialにチェックサイズが及ぼす影響	香川県立保健医療大学雑誌	12	21-26	2020
臨床検査学科	大栗聖由、松浦由香、池口拓哉、高森稔弘、 <u>小河佳織</u> 、榎本尚志、前垣義弘	2020	原著	和文	液晶ディスプレイを用いたPattern Reversal Visual Evoked Pontentialにチェックサイズが及ぼす影響	香川県立保健医療大学雑誌	12	21-26	2020
臨床検査学科	大栗聖由、松浦由香、池口拓哉、高森稔弘、 <u>小河佳織</u> 、榎本尚志、前垣義弘	2020	原著	和文	超音波エラストグラフィと筋硬度計による肩こりの評価	香川県立保健医療大学雑誌	12	27-31	2020
臨床検査学科	Takashi Himoto, Tsutomu Masaki	2020	総説	英文	Current trends of essential trace elements in patients with chronic liver disease.	Nutrients	doi : 10.3390/nu12072084		2020
臨床検査学科	Yamada H, Tamasaki A, <u>Oguri M</u> , Hori I, Saitoh S, Maegaki Y	2020	その他	英文	Frequent epileptic apnoea in a patient with Pitt-Hopkins syndrome	Epileptic Disord	22(5)	673-677	2020
臨床検査学科	秋山翔太、大栗聖由、 <u>山田博之</u> 、齋藤義朗、池口拓哉、佐藤研吾、廣岡保明、 <u>小河佳織</u> 、榎本尚志、前垣義弘	2020	その他	和文	小児欠神てんかん寛解後に不思議の国のアリス症候群を発症しgiant VEPを認めた一例	臨床神経生理学	48 (3)	121-126	2020
臨床検査学科	秋山翔太、大栗聖由、 <u>山田博之</u> 、齋藤義朗、池口拓哉、佐藤研吾、廣岡保明、 <u>小河佳織</u> 、榎本尚志、前垣義弘	2020	その他	和文	小児欠神てんかん寛解後に不思議の国のアリス症候群を発症しgiant VEPを認めた一例	臨床神経生理学	48 (3)	121-126	2020

2020年度研究業績（学会発表）

所属	研究者	年度	国内・国際	種類	発表タイトル	集会等の名称	開催地	発表年月
看護学科	塩田敦子, 多田達史, 武部晃司	2020	国内学会	一般演題	閉経前乳がん患者20例におけるタモキシフェンの性腺系への作用	第72回日本産科婦人科学会学術講演会	オンライン	2020年4月
看護学科	塩田敦子, 金西賢治	2020	国内学会	一般演題	思春期の月経前症候群（PMS）に対する漢方治療	第39回日本思春期学会総会・学術集会	オンライン	2020年8月
看護学科	塩田敦子, 多田達史, 武部晃司, 新井貴士, 安毛直美	2020	国内学会	一般演題	閉経前乳がん患者20例におけるタモキシフェン内服によるE2,FSHの経時的変化—約2年間にわたる20例の観察から—	第35回日本女性医学学会学術集会	オンライン	2020年11月
看護学科	塩田敦子, 金西賢治	2020	国内学会	一般演題	慢性外陰痛（Vulvodinia）と思われたが歳月生性器ヘルペスが関与していた3症例	第15回香川ISTI研究会	香川県高松市	2020年12月
看護学科	塩田敦子, 金西賢治	2020	国内学会	一般演題	不登校の女子学生のサポートに漢方薬が役立った2例	第56回日本東洋心身医学研究会	オンライン	2021年3月
看護学科	植村裕子	2020	国内学会	一般演題	母性看護学を学ぶ看護学生と助産師の観察場面における「気づき」「解釈」の比較	第35回日本助産学会	オンライン	2021年3月
看護学科	竹内千夏、吉本知恵	2020	国内学会	一般演題	病院看護師の認知症高齢患者に対する看護実践とその関連要因	第46回日本看護研究学会学術集会	オンライン	2020年8月
看護学科	竹内千夏、岡西幸恵、植村裕子、辻よしみ、片山陽子	2020	国内学会	一般演題	看護学生の学修活動における主体性を育む要因に関する文献検討	第40回日本看護科学学会学術集会	オンライン	2020年12月
看護学科	矢木希、花房菜々子、若原美春、竹内千夏	2020	国内学会	一般演題	身体疾患の治療目的で入院している認知症高齢者の家族介護者の思い	第34回日本看護研究学会中国四国地方学術集会	オンライン	2021年3月
看護学科	広瀬安紗美、山元あさひ、高橋友佳里、谷悠花、窓川菜央、平井智重子、竹内千夏、吉本知恵	2020	国内学会	一般演題	認知症高齢者を在宅で介護する家族介護者の介護継続要因・医学中央雑誌をデータベースとした文献検討・	第34回日本看護研究学会中国四国地方学術集会	オンライン	2021年3月
看護学科	森田公美子	2020	国内学会	一般演題	多発性骨髄腫患者のがんとともに生きる経験の文献レビュー	第40回日本看護科学学会学術集会	オンライン	2020年12月
看護学科	森田公美子	2020	国内学会	一般演題	両者ががんである側面からみた夫婦の関係性の様相	第35回日本がん看護学会学術集会	オンライン	2021年2月
看護学科	田中芹奈、竹内紀香、森田公美子	2020	国内学会	一般演題	日本の救急医療の場において代理意思決定を行う家族の特徴とその家族への看護の文献研究	第34回日本看護研究学会中国四国地方学術集会	オンライン	2021年3月

2020年度研究業績（学会発表）

所属	研究者	年度	国内・国際	種類	発表タイトル	集会等の名称	開催地	発表年月
看護学科	松本裕子、諏訪亜季子、多田達史、小亀恵、末澤千草、三浦浩美、舟越和代、但馬剛	2020	国内学会	一般演題	NBS陽性児と家族への支援の輪を広げ、地域をつくる	第47回日本マスコグリーニング学会誌	オンライン	2020年9月
看護学科	木戸久美子、三谷明美、植村裕子、小神野雅子、松村恵子	2020	国内学会	一般演題	本邦における育児期間中の父親の精神的健康状態の変化－パートナーの妊娠後期から産後1年にかけての縦断研究－	第35回日本助産学会学術集会	オンライン	2021年3月
看護学科	松村千鶴、深井喜代子	2020	国内学会	一般演題	生体表面の形状の違いは清拭効果に影響を及ぼすか？－ガーゼタオルと化繊タオルの比較－	第40回日本看護科学学会学術集会	オンライン	2020年12月
看護学科	須田啓介、山本雅也、日下富衣井、土岐弘美	2020	国内学会	一般演題	統合失調症の長期入院患者に対する自発性向上への看護支援	第51回日本看護学会	オンライン	2020年9月
看護学科	藤原由里江、藤澤慎、日下富衣井、土岐弘美	2020	国内学会	一般演題	認知症高齢者に提供するハンドセラピーの効果検証	第51回日本看護学会	オンライン	2020年9月
看護学科	神高順子、渡辺夕花、日下富衣井、土岐弘美	2020	国内学会	一般演題	精神療養病棟における退院に対する意識調査	第51回日本看護学会	オンライン	2020年9月
看護学科	中村恵子、岩本真紀、岡西幸恵、内海知子	2020	国内学会	一般演題	外来化学療法継続している進行がん患者が生き方を決めるまでに抱く思い	第51回日本看護学会-慢性期看護	Web開催	2020年11月
看護学科	小林秋恵、赤澤百合子、三好卓也、塩田和代、下元昭二、大東慶子、瀬尾佳織	2020	国内学会	一般演題	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師と産業保健師協働による労働者への脳卒中予防教育	第45回日本脳卒中学会学術集会	Web開催	2020年8月
看護学科	國方弘子、吉永尚紀	2020	国内学会	一般演題	看護師主導による自尊心回復グループ認知	第40回日本看護科学学会学術集会	Web開催	2020年12月
看護学科	山越恭平、山本純平、多田羅光美	2020	国内学会	一般演題	リカバリーに対するスタッフの意識と行動の変化（第1報）-リカバリーについての勉強会を実施して-	第27回日本精神科看護専門学術集会	web開催	2020年12月
看護学科	山本浩喜、多田羅光美	2020	国内学会	一般演題	リカバリーに対するスタッフの意識と行動の変化（第2報）-個別インタビューを通して勉強会前後の変化を調査する-	第27回日本精神科看護専門学術集会	web開催	2020年12月
看護学科	植村裕子、木戸久美子、松村恵子	2020	国内学会	一般演題	母性看護学を学ぶ看護学生と助産師に観察場面における「気づき」「解釈」の比較	第35回日本助産学会学術集会	web開催	2021年3月

2020年度研究業績（学会発表）

所属	研究者	年度	国内・国際	種類	発表タイトル	集会等の名称	開催地	発表年月
看護学科	竹田憲司、尾崎洋斗、吉本知恵	2020	国内学会	一般演題	コロナ禍における通所介護利用者のフレイル予防行動の実態と関連要因	第34回日本看護研究学会中国四国地方会学術集会	オンライン	2021年3月
看護学科	吉本知恵、竹内千夏、平井智重子	2020	国内学会	一般演題	老年看護学実習前後における看護学性的高齢者イメージの変化－リハビリテーション病棟と特別養護老人ホームの比較－	第46回日本看護研究学会学術集会	オンライン	2020年8月
看護学科	吉本知恵、竹内千夏、平井智重子	2020	国内学会	一般演題	ライフレビューブックを受け取った高齢者の思い（第2報）	日本老年看護学会第25回学術集会	オンライン	2020年8月
看護学科	新井恵津子	2020	国内学会	一般演題	リンパ浮腫患者の教育介入に関する文献検討	日本看護研究学会第46回学術集会	オンライン	2020年8月
看護学科	新井恵津子、高島小百合	2020	国内学会	一般演題	LVA術前・術後リンパ浮腫患者のセルフケアサポートの明確化	第51回日本看護学会学術集会（ヘルスプロモーション）	オンライン	2020年10月
看護学科	新井恵津子、日野日登美、藤本さとし、近藤真紀子	2020	国内学会	一般演題	糖尿病看護あるいは周手術期看護のエキスパートナースが有する実践知の統合	第25回日本糖尿病教育・看護学会学術集会	オンライン	2020年11月
看護学科	友孝将史、前田早也香、前田凛、堀美紀子	2020	国内学会	一般演題	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するA大学学生及び教職員の危機意識と感染予防行動	第34回日本看護研究学会中国四国地方会学術集会	オンライン	2021年3月
看護学科	金正貴美、堀美紀子	2020	国内学会	一般演題	コミュニケーションにおけるデブリ－フィングに関する文献検討	第34回日本看護研究学会中国四国地方会学術集会	オンライン	2021年3月
看護学科	岡田佳詠、北野進、石川博康、則包和也、中野真紀樹子、長井麻希江、白石裕子、吉永尚紀、國方弘子	2020	国内学会	シンポジウム・ワークショップ	地域精神障害者を支えるためのCBTを生かしたケア	第20回日本認知療法・認知行動療法学会	Web開催	2020年11月
看護学科	片山陽子	2020	国内学会	シンポジウム	ACP推進に関する提言：地域の取り組み	第3回日本在宅医療連合学会学術集会	web開催	2020年6月
看護学科	坂井志麻、長江弘子、宮下光令、原沢のぞみ、岩崎孝子、片山陽子、竹之内沙弥香、池田真理、伊藤真理、田村恵子	2020	国内学会	一般演題	自己の価値や生き方を表明するACP準備性尺度の開発：信頼性・妥当性の検討	第40回日本看護科学学会学術集会	web開催	2020年12月
教養部	南 貴子	2020	国内学会	一般演題	オーストラリアにおける自発的幫助自死法を巡る課題	第39回日本医学哲学・倫理学会	web開催	2020年10月

2020年度研究業績（学会発表）

所属	研究者	年度	国内・国際	種類	発表タイトル	集会等の名称	開催地	発表年月
助産学専攻科	丹羽美裕紀, 野口純子	2020	国内学会	一般演題	新卒助産師の分娩介助技術が自立するまでのプロセス-促進させる要因と困難にさせる要因-	第21回香川母性衛生学会学術集会	木田郡三木町	2020年12月
助産学専攻科	眞鍋由紀子, 関亦頼子, 鈴木富子, 宮本政子, 石原留美	2020	国内学会	一般演題	事例検討会の果たす役割ーこんにちは赤ちゃん訪問事業の質保証においてー	日本助産師学会	Web開催	2020年5月
助産学専攻科	石原留美, 永峰啓子, 西川良江, 葉久真理, 安井敏之	2020	国内学会	一般演題	産後2週間と1か月においてEPDS総合点別にみた生活状況の相違	日本助産師学会	Web開催	2020年5月
助産学専攻科	石原留美, 永峰啓子, 西川良江, 葉久真理, 安井敏之	2020	国内学会	一般演題	産後6か月間におけるうつ、不安症状の経過	日本母性衛生学会	Web開催	2020年10月
助産学専攻科	石原留美, 永峰啓子, 葉久真理	2020	国内学会	一般演題	産後6か月において月経の再開状況に影響する要因	日本助産学会学術集会	Web開催	2021年3月
助産学専攻科	野口純子	2020	国内学会	シンポジウム・ワークショップ	「地域における新しい助産師活動野創生 助産師に求められる役割」アドバンス助産師の役割と課題	第21回香川母性衛生学会学術集会	木田郡三木町	2020年12月
臨床検査学科	T.Himoto, S.Yamamoto, K.Morimoto, S.Tada, K.Fujita, J.Tani. A.Morishita, T.Masaki	2020	国際学会	一般演題	Clinical characteristics of PBC patients seropositive for anti-Sp100	22nd APLAR Virtual Congress	オンライン	2020年10月
臨床検査学科	末澤 千草, 安田 仁, 奥田 潤	2020	国内学会	一般演題	緑膿菌の腸管上皮細胞層透過に関与する <i>suhrB</i> 遺伝子の病原性解析	第68回日本化学療法学会総会	兵庫県神戸市	2020年9月
臨床検査学科	末澤 千草, 安田 仁, 山根 知, 長田 祥弥、國方 千菜美、奥田 潤	2020	国内学会	一般演題	緑膿菌の腸管上皮細胞層透過に関与する <i>suhrB</i> 遺伝子および12種類の線毛関連遺伝子の病原性解析	第94回日本細菌学会総会	岡山県岡山市	2021年3月
臨床検査学科	森西 起也、徳原 康哲、大崎 博之、松永 徹、門田 球一、伊吹 英美、平川 栄一郎	2020	国内学会	一般演題	大腸癌における核内受容体Peroxisome proliferator-activated receptor- α の発現	第109回日本病理学会総会	福岡県	2020年7月
臨床検査学科	多田達史、太田安彦、高橋宗孝、宮川朱美、村尾孝児	2020	国内学会	一般演題	生化学自動分析装置によるABO血液型判定方法の検討	第17回合同地方会 日本臨床化学会中国支部例会 日本臨床化学会四国支部例会	香川県	2021年2月
臨床検査学科	榎本尚志, 藤田浩二, 正木 勉	2020	国内学会	一般演題	非アルコール性脂肪性肝疾患患者における四肢骨格筋量を規定する因子は性別によって異なる。	第106回日本消化器病学会総会	オンライン	2020年8月

2020年度研究業績（学会発表）

所属	研究者	年度	国内・国際	種類	発表タイトル	集会等の名称	開催地	発表年月
臨床検査学科	樋本尚志, 宮武恵子, 前場隆志, 正木 勉	2020	国内学会	一般演題	肥満を伴わない非アルコール性脂肪性肝疾患患者の特徴について	第21回日本病院総合診療医学会学術総会	埼玉県さいたま市	2020年9月
臨床検査学科	樋本尚志, 藤田浩二, 正木 勉	2020	国内学会	一般演題	非アルコール性脂肪性肝疾患患者における血中微量元素濃度の臨床的意義について	第62回日本消化器病学会大会	兵庫県神戸市	2020年11月
臨床検査学科	大星 航, 林 恵輔, 竹内啓晃, 行正信康, 中村文洋	2020	国内学会	一般演題	肺腺癌細胞株を用いたmicroRNA-150の標的遺伝子の検索および機能の解析	第38回日本染色体遺伝子検査学会学術集会	オンライン	2020年12月
臨床検査学科	大栗聖由, 池口拓哉, 和田晋一, 小河佳織, 前垣義弘, 樋本尚志	2020	国内学会	一般演題	健康者における横隔膜筋厚と口腔内圧の検討	第50回日本臨床神経生理学会学術大会	web開催	2020年11月
臨床検査学科	和田晋一, 仲野春樹, 大栗聖由, 小林昌弘, 藤岡重和	2020	国内学会	一般演題	正中法ENoGは顔面神経全体の病態を反映するか 小児脳波・脳磁図研究の最前線	第50回日本臨床神経生理学会学術大会	web開催	2020年11月
臨床検査学科	岡西 徹, 大栗聖由, 金井 創太郎, 藤本 礼尚	2020	国内学会	一般演題	かん性スパズムに対する脳梁離断術の予後因子となる術前頭皮脳波の特徴 左右対称性と位相差について	第50回日本臨床神経生理学会学術大会	web開催	2020年11月
臨床検査学科	大栗聖由, 池口拓哉, 和田晋一, 小河佳織, 前垣義弘, 樋本尚志	2020	国内学会	一般演題	健康者における横隔膜筋厚と口腔内圧の検討	第50回日本臨床神経生理学会学術大会	web開催	2020年11月

2020年度研究業績（主催学会・研究会）

所属	研究者	年度	学会・研究会名	開催地	発表年月
看護学科	近藤真紀子, 岩本真紀, 細原正子, 森田公美子, 新井恵津子, 岡西幸恵	2020	たまも臨床看護研究会	高松市	2021年2月
看護学科	國方弘子, 多田羅光美	2020	かがわメンタルヘルス研究会	高松市	2020年8月, 9月, 11月
看護学科	岡田麻里	2020	劇団しましま（プレイバックシアター劇団）	広島県三原市	2020年4月－2021年3月
看護学科	片山陽子	2020	いのち支えあうプロジェクトかがわ	高松市	2020年10月11月、2021年2月、3月
看護学科	多田達史、松本裕子、諏訪亜季子	2020	CO+ 高松	高松市	2020年7月23日、6月21日、6月27日、11月20日、2021年1月20日、2月8日
臨床検査学科	多田達史、松本裕子、岡西幸恵、森西起也、諏訪亜季子、末澤千草、高嶋伸子	2020	地域連携推進センター採択事業 地域の魅力づくりのための保健医療福祉等スタッフへの支援事業（sOLEA）	高松市	2021年2月

2020年度研究業績（講演会等）

所属	研究者	研究会・研修会の名称	講演タイトル	開催地	開催日
看護学科	塩田 敦子	令和2年度高松市健康講座	漢方を知って素敵に歳を重ねましょう	高松市	2020年10月27日
看護学科	塩田 敦子	松山産婦人科医会例会	いのちを繋ぐ女性のライフサイクルと漢方～特にこころの症状、こころからの症状に～	オンライン	2020年10月28日
看護学科	塩田 敦子	令和2年度健康管理講習会 高松地方裁判所	がんについて知っておきたいこと	高松市	2020年11月9日
看護学科	塩田 敦子	かがわ長寿大学	ポジティブエイジングに活かす漢方のチカラ	高松市	2020年12月7日
看護学科	塩田 敦子	ばっこ助産院研修会	妊娠褥婦、子育て中のお母さんのメンタルヘルスとそれを支える人達のオウ ンメンタルヘルス－漢方治療も含めて－	高松市	2020年12月14日
看護学科	塩田 敦子	令和2年度東かがわ市 こころの健康づくり講座	ストレスに気づいてこころを整える ～ステキな年齢の重ね方～	東かがわ市	2021年3月2日
看護学科	塩田 敦子	高松市保健所 香川県歯科専門学校2年生 お・と・な力アップ講座	学生の健康管理と子宮頸がん予防について	高松市	2021年3月9日
看護学科	塩田 敦子	高松市保健所 香川県歯科専門学校1年生 お・と・な力アップ講座	学生の健康管理と子宮頸がん予防について	高松市	2021年3月19日
看護学科	岩本真紀	たまも臨床看護研究会	ストレングス理論	オンライン	2021年2月1日
看護学科	近藤真紀子	岡山大学 教養教育科目	ハンセン病と医療倫理	岡山市	春季集中
看護学科	近藤真紀子	岡山県看護協会	看護研究をはじめよう	岡山市	2020年4月19日・20日
看護学科	近藤真紀子	岡山県看護協会	看護実践に生かすケアリング	岡山市	2020年11月12日
看護学科	近藤真紀子	岡山県看護協会	いまなぜハンセン病なのか	岡山市	2021年2月19日

2020年度研究業績（講演会等）

所属	研究者	研究会・研修会の名称	講演タイトル	開催地	開催日
看護学科	近藤真紀子	岡山大学 医学部保健学科看護学専攻3年	看護管理	岡山市(オンライン)	2020年6月1日
看護学科	近藤真紀子, 近藤松子, 山端美香子, 大石由紀, 岡西幸恵	高松市立牟礼中学校	ハンセン病と実存的苦悩	高松市	2020年11月1日
看護学科	近藤真紀子, 廣畑聡, 近藤松子, 山端美香子, 大石由紀, 岡西幸恵	立命館慶祥中学校	ハンセン病の基礎知識	北海道(オンライン)	2021年1月1日
看護学科	近藤真紀子	高松市牟礼南小学校	ハンセン病について学ぼう	高松市	2020年11月1日
看護学科	植村裕子	公益社団法人香川県看護協会「いのちのせいせい」高松市立牟礼北小学校2年生	たいせつないのち	高松市	2020年12月4日
看護学科	植村裕子	公益社団法人香川県看護協会「いのちのせいせい」東かがわ市立大内小学校	たいせつないのち	東かがわ市	2021年1月20日
看護学科	植村裕子	公益社団法人香川県看護協会「いのちのせいせい」さぬき市立さぬき南中学校	「いのち」について	さぬき市	2021年2月12日
看護学科	植村裕子	公益社団法人香川県看護協会「保健師助産師看護師実習指導者講習会」実習指導：母性看護学	看護教育課程：母性看護学	高松市	2020年11月18日
看護学科	森田公美子	令和2年度 香川県立保健医療大学 公開講座	がんの予防・検診のきほん	高松市	2020年11月9日
看護学科	土岐 弘美	高松市地域ケア小会議	被害妄想のある認知症高齢者への対応と服薬管理	高松市	2020年9月11日
看護学科	土岐 弘美	高松市地域ケア小会議	片づけられない認知症高齢者が地域で生活していくためには	高松市	2021年3月15日
看護学科	土岐 弘美	香川県若年性認知症支援ネットワーク研修	若年性認知症の人の居場所・仲間づくりを考える	高松市	2021年2月1日

2020年度研究業績（講演会等）

所属	研究者	研究会・研修会の名称	講演タイトル	開催地	開催日
看護学科	土岐 弘美	介護療養型医療施設やわらぎ研修会	メンタルヘルス研修会Ⅰ	高松市	2020年11月4日
看護学科	土岐 弘美	介護療養型医療施設やわらぎ研修会	メンタルヘルス研修会Ⅱ	高松市	2020年11月18日
看護学科	土岐 弘美	介護療養型医療施設やわらぎ研修会	認知症研修会Ⅰ	高松市	2020年12月9日
看護学科	土岐 弘美	介護療養型医療施設やわらぎ研修会	認知症研修会Ⅱ	高松市	2020年12月23日
看護学科	土岐 弘美	香川県看護協会実習指導者研修会	集団討議の方法	高松市	2020年10月29日
看護学科	土岐 弘美	男性介護者と支援者の全国ネットワーク	さぬき男介護友の会 研究報告	高松市	2021年1月19日
看護学科	土岐 弘美	高知医療センター看護局キャリア開発&ストレスマネジメント研修	3年目の看護師のストレスマネジメント研修	高知市	2020年10月9日
看護学科	土岐 弘美	高知医療センター看護局キャリア開発&ストレスマネジメント研修	10年目の看護師のストレスマネジメント研修	高知市	2020年12月8日
看護学科	國方弘子	うつ病家族教室	うつ病の回復について－家族ができること－	高松市	2020年12月17日
看護学科	國方弘子	令和2年度小豆圏域精神障害者ピアサポーター養成講座	ピアサポーターって何？	小豆郡	2020年10月14日
看護学科	國方弘子	藤井学園寒川高等学校 出前講座	自分を好きになることと心の健康	さぬき市	2020年10月28日
看護学科	多田羅光美	医療法人社団三愛会三船病院	講義「ストレングス理論」	丸亀市	2020年12月8日
看護学科	小林秋恵	香川県看護協会新人看護職員他施設合同研修会	看護基礎教育の現状、新人看護師の技術習得状況	高松市	2020年8月26日
看護学科	小林秋恵	香川県看護協会実習指導者講習会	演習支援	高松市	2020年11月25、12月1、4、7日
看護学科	小林秋恵	香川県看護協会看護力再開発講習会	看護過程、看護記録	高松市	2021年1月26日

2020年度研究業績（講演会等）

所属	研究者	研究会・研修会の名称	講演タイトル	開催地	開催日
看護学科	吉本知恵	香川県看護協会「保健師助産師看護師実習指導者講習会」実習指導：老年看護学	看護教育課程：老年看護学	高松市	2020年11月19日
看護学科	植原千明	キャラバン・メイトフォローアップ交流会	対象に応じた効果的な健康教育の組み立て方～新しい生活様式を踏まえて～	高松市	2021年1月14日
看護学科	片山陽子	坂出市多職種研修会	カナダにおけるACPの実践と日本での現状	坂出市 Webとのハイブリッド形式	2020年8月22日
看護学科	片山陽子	香川県看護協会訪問看護入門研修会	訪問看護活動に要する基礎知識と技術	高松市	2020年8月29日、9月19日
看護学科	片山陽子	香川県看護協会訪問看護養成研修会	地域におけるヘルスケアサービスの仕組みと連携	高松市	2020年9月19日
看護学科	片山陽子	高松市生涯学習センター研修会まなびCAN	健康な時から始めるACP	高松市	2020年10月7日
看護学科	片山陽子	高松市在宅医療連携会議：在宅医療コーディネーター養成研修会	在宅医療コーディネーターに必要な知識とスキル・事例検討	高松市Webとのハイブリッド形式	2020年10月6日、10月13日、11月8日、11月10日、12月1日、12月8日
看護学科	片山陽子	土庄町・小豆島町合同介護支援専門員研修会	在宅のケアマネジャーが実践するACP	土庄町・小豆島町	2020年11月2日
看護学科	片山陽子	香川県看護協会介護施設等における看取り研修会	ACPの基本と看護職の役割	高松市	2020年11月14日
看護学科	片山陽子	香川県看護協会訪問看護推進研修会ラダー研修	意思決定を支える：訪問看護における意思決定支援	高松市	2020年11月21日

2020年度研究業績（講演会等）

所属	研究者	研究会・研修会の名称	講演タイトル	開催地	開催日
看護学科	片山陽子	全国介護支援専門員協議会第6回四国ブロック研修会	基調講演：自分らしい人生を過ごすための意思決定支援	高松市Webとのハイブリッド形式	2020年11月23日
看護学科	片山陽子	香川県看護協会実習指導者研修会	実習指導の概論：在宅看護学	高松市	2020年11月24日
看護学科	片山陽子	第8回高松地区緩和ケアネットワーク勉強会	地域を基盤に本人の意思をつなぐACPと緩和ケア	高松市Webとのハイブリッド形式	2020年11月27日
看護学科	片山陽子	香川県社会福祉協議会研修会	アドバンス・ケア・プランニングの基礎について	Web形式	2021年1月19日
看護学科	片山陽子	高松市医師会・在宅医療連携研修会	スキルアップ研修：ACP	高松市	2021年1月10日
看護学科	片山陽子	令和2年度第8回善通寺市在宅医療介護連携研修会	アドバンス・ケア・プランニング研修会：もしものときに備えて、自分らしく生きるために	高松市	2021年2月5日
看護学科	片山陽子	香川県ACP研修会	ACPについて	Web開催	2021年2月7日
看護学科	片山陽子	日本EOLケア学会意思表明支援研修会	意思表明支援ベーシックセミナー	Web開催	2020年11月1日、2021年1月23日
看護学科	片山陽子	日本EOLケア学会意思表明支援研修会	意思表明支援ファーストセミナー	Web開催	2020年11月7日、2月20日
看護学科	片山陽子、岡田麻里	日本EOLケア学会意思表明支援研修会	意思表明支援セカンドセミナー	Web開催	2020年12月5日、2021年3月13日
看護学科	堀美紀子	香川県看護協会実習指導者研修会	実習指導の概論：基礎看護学	高松市	2020年11月18日
看護学科	諏訪亜季子	香川県医療的ケア児者等コーナーセミナー養成研修	④家族支援、⑤虐待	高松市	2020年10月12日、10月13日、11月9日、11月10日
助産学専攻科	野口純子	公益社団法人愛媛県看護協会「令和2年度助産師交流集会」	助産師出向システムについて-香川県の取り組みと実際-	松山市（オンライン）	2020年10月1日

2020年度研究業績（講演会等）

所属	研究者	研究会・研修会の名称	講演タイトル	開催地	開催日
助産学専攻科	野口純子	公益社団法人日本看護協会「令和2年度都道府県看護協会母子のための地域包括ケアシステム推進会議」	香川県における母子支援の取り組み～看護職で地域の妊産婦を支える～	東京（オンライン）	2021年2月
臨床検査学科	池亀 彰茂	第12回香川県立保健医療大学臨床検査学科教育講演会	臨床検査技師のキャリアアップ 臨床現場で必要とされる臨床検査技師とは	高松市	2020年7月28日
臨床検査学科	池亀 彰茂	令和2年度 香川県立保健医療大学 公開講座	知って得する！血液検査、尿検査の前にやっておきたいこと	高松市	2020年11月9日
臨床検査学科	大栗 聖由	山陰神経セミナー	重症筋無力症について	鳥取県米子市 (web開催)	2020年10月31日

2020年度研究業績（科研費）

所属	研究者	年度	研究課題名	研究種目	新規・継続	交付金額
看護学科	近藤 真紀子(代表者)	2020	ハンセン病医療倫理学の創出に向けた学術的基盤の構築とカリキュラム開発	基盤研究 (B)	継続	6,240,000
看護学科	松村 千鶴 (代表者)	2020	安全・快適、コストパフォーマンスを実現する清潔ケアキットの開発と推進戦略の構築	基盤研究 (C)	継続	390,000
看護学科	岩本 真紀(代表者)	2020	外来化学療法を受けるがんサバイバーのストレングス尺度の開発	基盤研究 (C)	継続	520,000
看護学科	木戸 久美子 (代表者)	2020	父親の発達特性を踏まえた産後うつ病支援・予防プログラムの開発	基盤研究 (C)	継続	910,000
看護学科	土岐 弘美 (代表者)	2020	軽度認知症の人の自己コントロールを高める看護支援プログラムの開発	基盤研究 (C)	継続	1,040,000
看護学科	片山 陽子 (代表者)	2020	高齢者の尊厳ある死を目指す訪問看護師のターニングポイントの判断と実践の明確化	基盤研究 (C)	継続	1,040,000
看護学科	舟越 和代(代表者)	2020	レスパイトケアを活用した障害児の生涯における自立支援プログラムの開発	基盤研究 (C)	継続	期間延長
看護学科	岡西 幸恵(代表者)	2020	再発・転移がんサバイバーの調和を促進する看護援助方法の開発	基盤研究 (C)	新規	1,040,000
看護学科	岡田 麻里 (代表者)	2020	訪問看護師の多職種協働による地域看取りケアの振り返り支援教育プログラムの開発	基盤研究 (C)	新規	1,300,000
看護学科	三浦 浩美(代表者)	2020	親・保育者が行う3歳未満児への予防接種関連疼痛低減ケアモデルの構築	若手研究	新規	780,000
看護学科	植村 裕子 (代表者)	2020	VR技術を応用した育児技術シミュレーションプログラムの開発と評価	若手研究	新規	1,300,000

2020年度研究業績（科研費）

所属	研究者	年度	研究課題名	研究種目	新規・継続	交付金額
看護学科	松本 裕子（代表者）	2020	新生児マススクリーニング陽性児の発症予防に関する介入（アクションリサーチ）	若手研究（B）	継続	期間延長
看護学科	諏訪 亜季子（代表者）	2020	在宅で暮らす重症心身障害児（者）と高齢者家族の介護を担う多重介護の全国実態調査	若手研究（B）	継続	期間延長
看護学科	兵藤 好美（代表者）、 <u>近藤 真紀子</u> （分担者）	2020	ゲーミングシミュレーションを用いた医療事故生成プロセス制御モデルの構築	基盤研究（B）	継続	39,000
看護学科	仁科 祐子（代表者）、 <u>岡田 麻里</u> （分担者）	2020	若手訪問看護師の自律性を育成するための全国若手ナース実践共有型学修システムの構築	基盤研究（B）	新規	130,000
看護学科	石田 未知子（代表者）、 <u>國方 弘子</u> （分担者）	2020	高校生用目傷リスク質問票の開発を踏まえた自傷予防レジリエンス促進プログラムの構築	基盤研究（B）	新規	260,000
看護学科	尾形 由起子（代表者）、 <u>岡田 麻里</u> （分担者）	2020	多職種による地域住民「終の棲家」意思決定支援シートの開発	基盤研究（C）	継続	15,265
看護学科	土路生 明美（代表者）、 <u>舟越 和代</u> （分担者）	2020	発がんリスク遺伝子とライフスタイルに着目した小児がん経験者の生活に関する探索研究	基盤研究（C）	継続	39,000
看護学科	酒井 昌子（代表者）、 <u>片山 陽子</u> （分担者）	2020	高齢心不全患者の望む生活と最期を支える訪問看護師の判断と実践の明確化	基盤研究（C）	継続	104,000
看護学科	小出 恵子（代表者）、 <u>岡田 麻里</u> （分担者）	2020	優先順位に基づく保管活動を推進するスクラップ&ビルド実践ガイドライン	基盤研究（C）	継続	147,797
看護学科	中平 洋子（代表者）、 <u>土岐 弘美</u> （分担者）	2020	精神障がい者のFamily Resilienceを促すガイドラインの活用	基盤研究（C）	継続	195,000

2020年度研究業績（科研費）

所属	研究者	年度	研究課題名	研究種目	新規・継続	交付金額
看護学科	田中 美延里（代表者）、 <u>岡田 麻里</u> （分担者）	2020	へき地看護職の協働効力感尺度の開発と継続教育プログラムの試案作成	基盤研究（C）	継続	255,047
看護学科	白石 裕子（代表者）、 <u>國方 弘子</u> （分担者）	2020	精神科訪問看護師の認知行動療法実践を促進するスーパーバイズの効果に関する研究	基盤研究（C）	継続	期間延長
看護学科	山本 大佑（代表者）、 <u>井伊 久美子</u> （分担者）、 <u>片山 陽子</u> （分担者）	2020	中山間地域で継ぎ目の無い看取り支援を可能にする訪問看護師育成モデルの開発	基盤研究（C）	新規	130,000
教養部	古山 達雄（代表者）	2020	Foxo1転写因子によるリンパ管形成の調節	基盤研究（C）	新規	1,690,000
教養部	新美 健太（代表者）	2020	新規抗酸化ストレス経路FOXO1-xCT系を標的としたリンパ管新生の制御	若手研究	継続	1,040,000
臨床検査学科	奥田 潤（代表者）、末澤 千草（分担者）	2020	III 型分泌機構に着眼したエドワジエラ症原因細菌の病原機構解析と新規予防法の開発	基盤研究（C）	新規	910,000
臨床検査学科	末澤 千草（代表者）、奥田 潤（分担者）	2020	緑膿菌による腸管経由内因性血液感染機構の解明	基盤研究（C）	新規	1,300,000
臨床検査学科	山崎 未来（代表者）	2020	白血球DNAメチル化を標的としたNAFLDの発症予測マーカーの開発	研究活動スタート支援	継続	1,430,000
臨床検査学科	山口 航（代表者）	2020	単球サブセットの分化制御とMΦのクリアランス障害に対するセマフォリンの機能解析	若手研究	継続	1,300,000
臨床検査学科	大栗 聖由（代表者）	2020	機械学習を利用した自己組織化マップによる急性脳症の早期診断および予後予測法の開発	若手研究	継続	1,690,000

2020年度研究業績（その他助成金）

所属	研究者	年度	助成金の名称	区分	新規・継続	研究課題名	補助金額
看護学科	塩田 敦子	2020	ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター（学外共同研究）	その他の助成金	継続	生理解毒ケア研究及び関連商品・サービスの研究	506,000
看護学科	塩田 敦子	2020	ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター（学外共同研究）	その他の助成金	継続	月経・月経量研究及び関連商品・サービスの研究	506,000
看護学科	片山 陽子	2020	一般財団法人百十四銀行学術文化振興財団助成金	その他の助成金	新規	香川県の医療介護専門職におけるACPIに関する理解度と実践状況の実態の明確化	200,000
看護学科	新井 恵津子	2020	公益信託エム・アイ・ユー財団記念基金	奨学寄附金	新規	婦人科がん治療後リンパ浮腫患者のセルフケア教育プログラムの有効性の検証	500,000
臨床検査学科	奥田 潤	2020	キヤノンメディカルシステムズとの学外共同研究	その他の助成金	継続	簡易分析装置の検査項目実現可能性及び性能評価に関する研究	1,250,000
臨床検査学科	奥田 潤	2020	オサカ病院	奨学寄附金	継続	香川県立保健医療大学における研究助成	50,000
臨床検査学科	多田 達史	2020	キヤノンメディカルシステムズとの学外共同研究	その他の助成金	継続	簡易分析装置の検査項目実現可能性及び性能評価に関する研究	1,250,000
臨床検査学科	大栗 聖由	2020	国立研究開発法人科学技術振興機構 研究成果展開事業（研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP））	その他の助成金	継続	脳波解析技術とセンサ技術の融合による新規脳波検査シミュレータの開発	1,300,000

2020年度研究業績（共同研究（学内））

所属	研究者	年度	研究題目
看護学科	片山陽子、岡田麻里、諏訪亜季子、尾崎美智、 三浦雅美、大原昌樹	2020	生活と医療を統合した人生の最終段階における訪問看護師の臨床判断 の構造と特徴

2020年度研究業績（共同研究（学外））

所属	研究者	年度	研究題目	共同研究先	開始年度
看護学科	塩田 敦子	2020	生理痛ケア研究及び関連商品・サービスの研究	ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター	2017年度
看護学科	塩田 敦子	2020	月経・月経量研究及び関連商品・サービスの研究	ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター	2019年度
看護学科	岡田麻里、片山陽子	2020	継続看護マネジメント教育プログラム	NPO法人JAIC	2020年度
看護学科	片山陽子	2020	Clarifying the position of ACP in regional comprehensive care and verifying effective dialogue process for each ACP stage from studies conducted in Canada and Japan	・ University of British Columbia, Nursing Research Center ・ Fraser Health Authority	2019年度
看護学科	片山陽子	2020	日本版オマハシステムの実装と検証	一般社団法人オマハシステムジャパン	2016年度
臨床検査学科	奥田 潤	2020	簡易分析装置の検査項目実現可能性及び性能評価に関する研究	キヤノンメディカルシステムズ	2015年度
臨床検査学科	多田 達史	2020	簡易分析装置の検査項目実現可能性及び性能評価に関する研究	キヤノンメディカルシステムズ	2015年度
臨床検査学科	多田 達史	2020	日常生活における社会的ストレスおよびそれを形成する要因の解析	セルスベクト株式会社	2017年度
臨床検査学科	池亀 彰茂	2020	プレセプシン産生の分子細胞学的機序および影響因子の解明	LSIメディエンス株式会社	2020年度
臨床検査学科	池亀 彰茂	2020	ADVIA2120iのNACU項目におけるNETs定量解析	シーメンスヘルスケア・データ イテグレーション株式会社	2020年度

2020年度研究業績（審議会委員等）

所属	研究者	委員・役員等の名称	就任期間（日）
看護学科	塩田 敦子	香川県がん対策推進協議会 子宮がん部会委員	2007年10月～
看護学科	塩田 敦子	香川県がん対策推進協議会委員	2012年10月～
看護学科	塩田 敦子	香川県准看護師試験委員	2014年4月～
看護学科	塩田 敦子	香川県総合健診協会子宮がん検診精度管理委員会委員	2018年4月～
看護学科	塩田 敦子	香川漢方研究会世話人	2007年7月～
看護学科	塩田 敦子	香川県東讃保健福祉事務所女性の健康相談医師	1998年11月～
看護学科	塩田 敦子	香川県看護協会不妊・不育センター 相談医師	2018年4月～
看護学科	塩田 敦子	香川県木田郡三木町女性の健康相談医師	2015年4月～
看護学科	塩田 敦子	香川県東かがわ市女性の健康相談医師	2016年4月～
看護学科	塩田 敦子	厚労省 医政局 医師試験委員	2020年4月～
看護学科	塩田 敦子	日本女性心身医学会 理事	2020年6月～
看護学科	近藤 真紀子	長島愛生園 人権擁護委員	2018年4月1日～
看護学科	近藤 真紀子	大島青松園 人権擁護委員	2018年4月2日～
看護学科	森田 公美子	香川県ナースセンター事業運営委員会委員	2020/4/1～
看護学科	木戸 久美子	日本助産学会代議員	2020/3/31～
看護学科	木戸 久美子	香川県医療安全推進協議会委員	2020/4/1～
看護学科	木戸 久美子	日本助産学会選任査読委員	2019年4月～
看護学科	木戸 久美子	第35回日本助産学会査読委員	2020年10月
看護学科	松村 千鶴	日本看護技術学会専任査読委員	2020/4/1～
看護学科	松村 千鶴	日本看護技術学会評議員	2020/6/1～
看護学科	松村 千鶴	日本看護学会ヘルスプロモーション学術集会査読委員	2020/2/1～

2020年度研究業績（審議会委員等）

所属	研究者	委員・役員等の名称	就任期間（日）
看護学科	松村 千鶴	一般社団法人日本看護研究学会中国・四国地方会運営委員	2019/3/2～
看護学科	土岐 弘美	香川県若年性認知症支援事業アドバイザー	2018年4月1日～
看護学科	土岐 弘美	香川県初期集中支援事業チーム委員	2016年4月1日～
看護学科	土岐 弘美	（一社）日本精神科看護協会香川県支部看護研究発表会査読委員	2015年4月1日～
看護学科	土岐 弘美	香川県専門看護師委員会代表	2015年4月1日～
看護学科	土岐 弘美	高知女子大学看護学会誌査読委員	2020年3月1日～
看護学科	土岐 弘美	日本CNS看護学会査読委員	2020年10月～
看護学科	土岐 弘美	日本看護学会ヘルスプロモーション学術集会査読委員	2020年2月1日
看護学科	木戸 久美子	Asian Journal of Pregnancy and Childbirth reviewer	2020年10月
看護学科	木戸 久美子	International STD Research & Reviews reviewer	2020年11月
看護学科	木戸 久美子	Asian Journal of Pediatric Research reviewer	2020年11月～
看護学科	木戸 久美子	International Neuropsychiatric Disease Journal reviewer	2020年11月
看護学科	木戸 久美子	Educational Research and Reviews reviewer	2020年12月
看護学科	國方 弘子	令和2年度香川県精神障害者地域移行・地域定着支援推進事業運営委員	2020年4月
看護学科	國方 弘子	令和2年度精神障害者ピアサポート活動推進のための検討会	2020年12月
看護学科	國方 弘子	一般社団法人日本看護研究学会 第48回学術集会 企画・実行委員	2020年2月～
看護学科	國方 弘子	一般社団法人日本看護研究学会編集委員	2018年6月～2020年8月
看護学科	國方 弘子	一般社団法人看護のための認知行動療法研究会理事	2017年2月～
看護学科	國方 弘子	一般社団法人日本看護研究学会評議員	2016年5月～2020年7月

2020年度研究業績（審議会委員等）

所属	研究者	委員・役員等の名称	就任期間（日）
看護学科	國方 弘子	一般社団法人日本看護研究学会中国・四国地方会運営委員	2016年4月～
看護学科	國方 弘子	一般社団法人日本精神保健看護学会編集委員	2016年1月～
看護学科	國方 弘子	公益社団法人日本看護科学学会和文誌専任査読委員	2015年10月～
看護学科	國方 弘子	一般社団法人日本精神保健看護学会代議員	2015年4月～
看護学科	國方 弘子	日本精神保健看護学会学会誌査読委員	2009年9月～
看護学科	多田羅 光美	（一社）日本精神科看護協会香川県支部幹事	2013年6月～
看護学科	多田羅 光美	（一社）日本精神科看護協会香川県支部看護研究発表会査読委員	2012年6月～
看護学科	植村 裕子	香川母性衛生学会 幹事	2006年～
看護学科	植村 裕子	日本看護学会ヘルスプロモーション学術集会査読委員	2020年2月1日～
看護学科	竹内 千夏	日本看護学会ヘルスプロモーション学術集会査読委員	2020年2月1日～
看護学科	小林 秋恵	日本ニューロサイエンス看護学会監事	2013年～
看護学科	小林 秋恵	日本ニューロサイエンス看護学会査読委員	2017年～
看護学科	小林 秋恵	日本看護学会ヘルスプロモーション学術集会抄録選考委員	2020年2～9月
看護学科	小林 秋恵	香川大学看護学雑誌査読委員	2017年～
看護学科	片山 陽子	日本看護協会看護職能II委員会委員	2016年10月～
看護学科	片山 陽子	日本エンドオブライケア学会理事・査読委員	2015年6月～
看護学科	片山 陽子	日本看護科学学会代議員	2019年4月～
看護学科	片山 陽子	日本老年医学会倫理委員会委員	2017年6月～
看護学科	片山 陽子	Geriatrics and Gerontology International, reviewer	2020年4月～
看護学科	片山 陽子	Journal of Hospice and Palliative Nurse, reviewer	2018年～
看護学科	片山 陽子	日本看護研究学会評議員	2018年5月～
看護学科	片山 陽子	日本在宅ケア学会代議員・査読委員	2018年6月～

2020年度研究業績（審議会委員等）

所属	研究者	委員・役員等の名称	就任期間（日）
看護学科	片山 陽子	日本在宅医療連合学会評議員・査読委員	2019年5月～
看護学科	片山 陽子	日本看護学会ヘルスプロモーション学術集会査読委員	2020年2月～9月
看護学科	片山 陽子	香川県立中央病院地域支援病院運営委員	2020年4月～
看護学科	片山 陽子	香川県医療審議会委員	2020年4月～
看護学科	片山 陽子	高松市在宅医療連携推進会議委員	2016年6月～
看護学科	片山 陽子	香川大学看護学雑誌査読委員	
看護学科	片山 陽子	香川県人生の最終段階の医療・ケアの普及啓発委員	2020年4月～
看護学科	片山 陽子	香川県然るべき人生をつなぐ会理事	2019年10月～
看護学科	吉本 知恵	日本看護研究学会評議員	2016年5月22日～ 2020年7月4日
看護学科	吉本 知恵	香川県看護協学会委員	2020年6月21日～
看護学科	諏訪 亜季子	香川県自立支援協議会医療的ケア部会委員	2019年4月1日～
看護学科	諏訪 亜季子	香川県医療的ケア児者等コーディネーター養成検討委員	2019年4月1日～
看護学科	諏訪 亜季子	香川県看護協会訪問看護推進委員	2018年4月～
看護学科	諏訪 亜季子	厚生労働省障害者総合福祉推進事業 障害児通所支援事業所等における安全な医療的ケアの実施体制の構築に関する調査研究検討委員	2020年4月～ 2021年3月
助産学専攻科	野口 純子	公益社団法人全国助産師教育協議会 理事	2019年6月20日～
助産学専攻科	野口 純子	公益社団法人日本看護協会 助産師職能委員	2017年6月8日～
助産学専攻科	野口 純子	香川県助産師出向推進協議会委員	2020年8月1日～

2020年度研究業績（審議会委員等）

所属	研究者	委員・役員等の名称	就任期間（日）
助産学専攻科	野口 純子	公益社団法人日本看護協会 令和2年度厚生労働省先駆テク保健活動交流推進事業「地域包括ケアシステム推進に向けた保健医療福祉の連携強化に関する検討委員会」委員	2020年4月17日～
助産学専攻科	野口 純子	香川母性衛生学会 理事	
助産学専攻科	野口 純子	香川母性衛生学会「性の健康サポートWG」委員長	
助産学専攻科	野口 純子	香川大学医学部看護学雑誌 査読委員	
助産学専攻科	野口 純子	2020年度第51回日本看護学会－ヘルスプロモーション-学術集会抄録選考委員	2020年2月1日～
助産学専攻科	石原 留美	香川母性衛生学会 幹事	2017年～
助産学専攻科	石原 留美	香川母性衛生学会誌査読委員	2017年～
助産学専攻科	石原 留美	香川母性衛生学会「性の健康サポートWG」委員	2018年～
助産学専攻科	石原 留美	日本看護学会ヘルスプロモーション学術集会査読委員	2020年2月1日～
助産学専攻科	石原 留美	香川県助産師会常任委員会委員（教育）	2017年4月～
助産学専攻科	石原 留美	香川県助産師会産褥ケア事業委員会委員	2020年4月～
臨床検査学科	多田 達史	香川県精度管理専門委員	2018年4月1日～
臨床検査学科	多田 達史	生物試料分析科学会評議委員	2017年4月1日～
臨床検査学科	多田 達史	生物試料分析科学会中国四国支部理事	2013年4月1日～
臨床検査学科	多田 達史	香川県臨床検査技師会監事	2018年4月1日～
臨床検査学科	池亀 彰茂	日本臨床検査技師会 精度管理委員（血液検査分野）	2018年4月1日～
臨床検査学科	池亀 彰茂	日本検査血液学会評議員	2018年4月1日～
臨床検査学科	池亀 彰茂	日本サイトメトリ－学会代議員	2019年4月1日～

2020年度研究業績（審議会委員等）

所属	研究者	委員・役員等の名称	就任期間（日）
看護学科	吉本 知恵	日本看護学会ヘルスプロモーション学会抄録選考委員	2020年2月1日～9月30日
看護学科	吉本 知恵	香川大学看護学雑誌査読委員	2017年～
看護学科	吉本 知恵	高知女子大学看護学会誌査読委員	2020年3月1日～
看護学科	吉本 知恵	香川県准看護師試験委員	2019年4月1日～
看護学科	吉本 知恵	東かがわ市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会委員	2020年8月～

2020年度研究業績（学位取得）

所属	研究者	年度	取得学位名
看護学科	森田公美子	2020	博士（看護学）
看護学科	多田羅光美	2020	博士（看護学）
看護学科	植原千明	2020	博士（医学）
助産学専攻科	石原留美	2020	博士（保健学）

2020年度研究業績（動物実験学生実習）

所属	研究者	年度	研究課題名
教養部	加太英明 新美健太	2020	マウス腹腔内臓器の観察

12. 管理運営

1) 教授会

【定例教授会】

回	日 時	審議事項
1	令和2年4月1日	1 退学願について 2 休学願について 3 共同研究の実施について
2	令和2年4月15日	1 令和2年度授業料等の減免等について 2 共同研究の実施について
3	令和2年5月13日	1 令和2年度地域連携推進センター採択事業について 2 香川県立保健医療大学図書館利用規程の一部改正について 3 香川県立保健医療大学雑誌投稿編集規程の一部改正について 4 香川県立保健医療大学雑誌原稿執筆要領の一部改正について 5 2021年度入学者選抜要項について 6 名誉教授の称号授与について
4	令和2年6月3日	1 令和2年度授業料等の減免等について 2 教員の再任について
5	令和2年6月17日	1 令和2年度臨地実習指導者への委嘱状の交付及び臨地教授等の称号授与について 2 2021（令和3）年度入学者選抜要項について
6	令和2年7月1日	1 非常勤講師の追加について 2 実習指導助手の変更について 3 令和3年度学年暦について 4 令和2年度授業料等の減免等について 5 看護学科教員（地域看護学、公衆衛生看護学 准教授又は講師）の公募について 6 看護学科教員（基礎看護学 助教）の公募について 7 看護学科教員（在宅看護学 助教）の公募について 8 臨床検査学科教員（検査管理学ほか 准教授）の公募について
7	令和2年7月15日	1 2021（令和3）年度入学者選抜要項について 2 2021年度大学入学者選抜について 3 2021（令和3）年度助産学専攻科入学者選抜方法等の概要について 4 2021（令和3）年度助産学専攻科入学試験実施要領について 5 2021年（令和3）年度助産学専攻科学生募集要項について 6 評議会の資料について
8	令和2年8月5日	1 大学院の拡充に係る事項について
9	令和2年9月2日	1 2021（令和3）年度学校推薦型選抜実施要領について

回	日 時	審議事項
		2 2021（令和3）年度学校推薦型選抜学生募集要項について 3 令和2年度授業料等の減免について 4 休学願について 5 共同研究の実施について
10	令和2年10月7日	1 2021（令和3）年度学校推薦型選抜実施要領について 2 令和2年度後期授業料の減免について 3 香川県立保健医療大学倫理審査委員会規程の改正について 4 香川県立保健医療大学非常勤講師に関する申合せ事項の改正について 5 香川県立保健医療大学臨地教授等の称号の授与に関する規程の改正について
11	令和2年10月21日	1 令和2年度後期授業料の減免等について 2 香川県立保健医療大学学生細則の改正について 3 令和2年度地域連携推進センター採択事業について
12	令和2年11月4日	1 2021年度大学入学者選抜について 2 2021（令和3）年度助産学専攻科入学試験について 3 2021（令和3）年度学校推薦型選抜入学試験について 4 2021（令和3）年度一般選抜試験実施要領について 5 2021（令和3）年度一般選抜試験学生募集要項について 6 2022年度入学試験実施計画について 7 警報発令時における講義等の取扱いに関する申合せの改正について 8 香川県立保健医療大学授業科目履修規程の改正について 9 非常勤講師の任用について 10 臨床検査学科教員（血液検査学ほか 助教）の公募について
13	令和2年11月18日	1 令和2年度後期授業料の減免について 2 2021（令和3）年度学校推薦型選抜学生募集要項について 3 2021（令和3）年度一般選抜試験学生募集要項について 4 共同研究の実施について
14	令和2年12月2日	1 教員（看護学科 地域看護学、公衆衛生看護学 准教授）の選考について 2 教員（臨床検査学科 検査管理学ほか 准教授）の選考について 3 教員の再任について 4 2021（令和3）年度助産学専攻科入学試験の合否判定について 5 学長賞選考に関する申合せ事項の改正について 6 令和3年度非常勤講師について

回	日 時	審議事項
15	令和2年12月16日	1 2021（令和3）年度学校推薦型選抜入学試験の合否判定について 2 令和2年度後期授業料の減免について
16	令和3年1月6日	1 教員（臨床検査学科 血液検査学ほか 助教）の選考について 2 休学願について
17	令和3年1月20日	1 教員組織の見直しについて 2 2021（令和3）年度一般選抜試験実施要領の改正について 3 2021（令和3）年度一般選抜試験（前期・後期日程）の追試験について 4 ティーチング・アシスタント配置希望科目について
18	令和3年2月3日	1 2021（令和3）年度一般選抜入学試験（前期日程）について 2 2021（令和3）年度一般選抜入学試験（後期日程）について 3 卒業判定・修了判定について 4 学長賞について 5 令和3年度非常勤講師について 6 令和3年度実習指導助手について 7 休学願について 8 香川県立保健医療大学学生の公休に関する申合せ事項の改正について 9 評議会の資料について
19	令和3年2月15日	1 2021（令和3）年度学校推薦型選抜入学試験（臨床検査学科：最終合格）の合否判定について 2 共同研究の実施について 3 受託研究の受入れについて
20	令和3年3月3日	1 2021（令和3）年度一般選抜入学試験（前期日程）の合否判定について 2 進級判定について 3 退学願について 4 復学願について 5 受託研究の受入れについて
21	令和3年3月19日	1 2021（令和3）年度一般選抜入学試験（後期日程看護学科）の合否判定について 2 進級判定について 3 保健師教育課程選択可能者の合否判定について 4 退学願について 5 令和3年度非常勤講師について 6 令和3年度実習指導助手について 7 香川県立保健医療大学ハラスメント防止等に関する規程の改正について

回	日 時	審議事項
		8 令和3年度学内委員会等委員について

2) 研究科委員会

【定例研究科委員会】

回	日 時	審議事項
1	令和2年4月1日	1 令和2年度研究指導教員の選考について 2 令和2年度研究科科目担当教員の選考について
2	令和2年5月13日	1 令和3年度研究科担当教員候補の推薦について 2 2021年度入学者選抜方法等の概要について 3 2021年度博士前期課程（看護学専攻）入学試験実施要領について 4 2021年度博士後期課程（看護学専攻）入学試験実施要領について 5 2021年度博士前期課程（臨床検査学専攻）入学試験実施要領について 6 2021年度博士後期課程（臨床検査学専攻）入学試験実施要領について
3	令和2年6月3日	1 令和2年度博士後期課程 博士論文研究計画書に係る研究計画書審査委員の選出について 2 令和3年度研究科担当教員の選考について 3 香川県立保健医療大学大学院修士学位審査規程等の改正について 4 香川県立保健医療大学大学院保健医療学研究科臨床検査学専攻博士後期課程学位取得プロセスの改正について
4	令和2年7月1日	1 博士論文研究計画書について 2 2021（令和3）年度学生募集要項（看護学専攻）について 3 2021（令和3）年度学生募集要項（臨床検査学専攻）について
5	令和2年8月5日	1 修士論文研究計画書について
6	令和2年9月2日	1 博士論文審査委員の選出について 2 休学願について 3 修士論文の研究計画書の承認について
7	令和2年10月7日	1 令和3年度大学院入学試験について 2 修了判定について 3 令和3年度大学院入学試験に係る出願資格審査について
8	令和2年11月4日	1 2021（令和3）年度入学試験の合否判定について 2 令和3年度研究科担当教員の選考について
9	令和2年12月2日	1 令和3年度研究科担当教員の選考について

回	日 時	審議事項
		2 臨床検査学専攻博士後期課程 博士論文予備審査に係る博士論文予備審査委員の選出について 3 保健医療学研究科 修士論文題目の変更について 4 博士論文研究計画書の審査結果について
10	令和3年1月6日	1 令和3年度授業科目について 2 令和3年度非常勤講師について 3 博士論文予備審査結果について 4 博士論文研究計画書の審査結果について 5 修士論文研究計画書の承認について
11	令和3年2月3日	1 令和2年度修士論文審査委員について 2 令和2年度博士論文審査委員について 3 令和2年度研究計画書について 4 長期履修について 5 実践者養成コース（保健師課程・助産師課程）の教育課程及び県内推薦枠について 6 ティーチング・アシスタントについて
12	令和3年3月3日	1 修了判定について 2 令和2年度修士論文研究計画書について 3 看護学専攻における修士学位取得要項及び臨床検査学における修士学位取得要項の改正について 4 ティーチング・アシスタントの選考について

【臨時研究科委員会】

回	日 時	審議事項
1	令和2年4月15日	1 令和2年度研究指導員及び修士・博士論文題目について

3) 学内委員会

【総務企画委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和2年7月27日	① 大学院拡充に係る増築棟スペースの移設について
2	令和2年10月8日	① 香川県立保健医療大学学生細則の改正について

【毒劇物等・廃棄物専門委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和2年7月2日	1 毒劇物等の管理等委任簿の確認について 2 毒劇物等の定期検査の実施について 3 廃液等の処理について 4 有害物質使用特定施設定期点検について 5 その他

【動物実験専門委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和2年6月22日	1 動物実験計画書について 2 動物実験に関する自己点検・評価報告書について 3 その他
2	令和3年3月17日	1 動物実験計画書について

【遺伝子組換え実験安全委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和2年6月2日	1 提出のあった遺伝子組換え実験計画の申請について
2	令和2年9月29日	1 提出のあった遺伝子組換え実験計画の申請について
3	令和3年2月1日	1 提出のあった遺伝子組換え実験計画の申請について

【教務委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和2年4月21日	1 留年した学生の単位認定について 2 授業開始日延期による各学科の対応について 3 年間計画について 4 令和2年度前期履修登録の状況について 5 特別講義講師・授業支援者について 6 臨地実習に伴う臨地実習指導者の委嘱 7 臨地教授等の称号授与について
2	令和2年5月12日	審議事項 1 令和2年度の教務委員会の目的・目標・活動内容の設定 2 6月以降の時間割について 3 前期試験日程について 4 臨地実習に伴う臨地実習指導者の委嘱及び臨地教授等称号授与 5 特別講義講師・授業支援者について 報告事項 1 第12回香川県立保健医療大学臨床検査学科教育講演会について 2 令和2年度前期履修登録状況について 3 非常勤講師の謝金の支払いについて 4 教科書再販について
3	令和2年6月24日	審議事項 1 非常勤講師の追加について 2 実習指導助手の変更について 3 試験監督実施手順について 4 令和3年度学年暦（案）について 報告事項 1 前期時間割の変更について

回	日 時	審議・報告事項
		2 遠隔授業について 3 前期試験及び後期履修登録について 4 「生物学実験」臨地実験実習について
4	令和2年7月31日	審議事項 1 令和3年度非常勤講師について 2 特別講義講師について 報告事項 1 前期時間割変更について 2 期末試験期間の周知事項及び手続き等について 3 本年度後期や次年度の各授業科目の実施方法に係る留意点について 4 令和2年度後期履修登録の状況について
5	令和2年8月20日	報告事項 1 休学願について 2 令和2年度前期試験について 3 令和2年度後期履修登録の結果について 4 令和3年度時間割案の学内調整期間について 5 令和3年度シラバス（授業科目一覧表含む）の作成及び作成要領について
6	令和2年9月29日	審議事項 1 「香川県立保健医療大学非常勤講師に関する申合せ事項」の改正について 2 「警報発令時における講義等の取扱いに関する申合せ」の改正について 3 「香川県立保健医療大学臨地教授等の称号授与に関する規定」の改正について 4 令和3年度シラバスの作成について 報告事項 1 学生用 Wi-Fi について 2 令和2年度前期試験について 3 体育館及び大講義室の使用について 4 令和2年度卒業式及び令和3年度入学式の日程について 5 特別講義講師・授業支援者について
7	令和2年10月26日	審議事項 1 「警報発令時における講義等の取扱いに関する申合せ」の改正について 2 「香川県立保健医療大学授業科目履修規程」の改正について 3 保健師教育課程選択者選抜試験について 4 非常勤講師の新規任用（交代）について

回	日 時	審議・報告事項
		5 「SDGs 医療機関債」による寄贈の使途について 6 令和3年度大講義室の天井等脱落防止工事の工期について 報告事項 1 令和2年度下半期教務関係スケジュールについて 2 令和3年度シラバスの作成について 3 学外見学について 4 授業支援者について
8	令和2年11月20日	審議事項 1 卒業・修了判定及び進級判定の日程について 2 後期試験について 3 学長賞候補予備選考について 4 令和3年度非常勤講師について（新規任用（交代）） 報告事項 1 学外見学・学外授業について
9	令和2年12月22日	審議事項 1 シラバスの進捗状況について 2 令和3年度単位互換科目及び単位互換可能な地域志向科目について 3 臨床検査学科「生化学Ⅰ」「生化学Ⅱ」について 4 臨床検査学科のカリキュラムについて 5 学長賞候補予備選考について 報告事項 1 オリエンテーション期間について
10	令和3年1月13日	審議事項 1 卒業式・修了式について 2 HP掲載内容の更新について 報告事項 1 ティーチングアシスタント配置希望科目申請書について 2 食品衛生管理者養成施設及び食品衛生監視員養成施設にかかる届出事項の変更の有無及び内容の照会について 3 学生の欠席連絡の方法の変更について
11	令和3年2月3日	審議事項 1 卒業判定・修了判定について 2 学長賞（成績優秀者本選考）について 3 非常勤講師の交代について 4 香川県立保健医療大学学生細則の改正について（欠席届の改正） 5 香川県立保健医療大学学生の公休に関する申合せ事項の改正について（公休願の改正） 報告事項

回	日 時	審議・報告事項
		1 学生の休学について 2 令和3年度時間割について
1 2	令和3年3月3日	審議事項 1 令和2年度後期期末試験の結果及び進級判定について 2 令和3年度非常勤講師の任用について 報告事項 1 復学願について 2 特別講義について
1 3	令和3年3月19日	審議事項 1 進級判定について 2 カリキュラム改正に係る文部科学省への届出について(看護学科、専攻科) 3 R2年度後期科目結果からの成績通知の方法について 4 入学式について 5 令和3年度実習指導助手の任用について 6 令和3年度臨地教授等称号授与者等について(対象者の確認依頼、大島青松園について) 報告事項 1 退学願について 2 令和3年度単位互換について 3 令和3年度前期履修登録について 4 令和3年度前期授業開始日の周知方法について

【学生委員会】

回	年月日	審議・報告事項
1	令和2年4月10日	1 学生委員会の目的・目標・課題について 2 授業料減免等について 3 後援会だよりについて 4 学生の健康診断について 5 食堂利用に関する対策について 6 その他
2	令和2年5月20日	1 授業料減免について 2 6月からの大学施設の利用方法について 3 今年度の行事の開催等について 4 その他
3	令和2年10月13日	1 授業料減免について 2 学生団体(サークル)について 3 後援会だよりについて 4 後援会実施の卒業記念事業について

		5 令和3年度新入生オリエンテーション・ガイダンス等について 6 大学祭にかかわる企画について 7 新型コロナウイルス感染症対策助成事業（日本学生支援機構）について 8 コロナハラスメントに対する啓発キャンペーンについて 9 学生の駐車場利用について 10 学生・教員連絡会議の開催について 11 学生相談について
4	令和3年2月24日	1 令和3年度新入生オリエンテーション・ガイダンス等について 2 ポートフォリオについて 3 令和3年度学生健康診断について 4 その他

【教務・学生合同委員会】

回	年月日	審議・報告事項
1	令和3年2月3日	1 学長賞（成績優秀者本選考）について 2 その他

【入試委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和2年4月20日	1 2021(令和2)年度(学部)入学者選抜要項 ・臨床検査学科の合否判定会議開催日及び合格発表日について ・臨床検査学科の集団討論と個人面接の配点について ・調査書の評価方法について 2 2021(令和3)年度(大学院)入学者選抜方法等の概要 3 2021(令和3)年度(大学院)入学試験実施要領 4 令和2年度・令和3年度入試委員会活動計画について 5 令和2年度入試に係る救護担当教員及び採点確認教員について
2	令和2年6月12日	1 入学者選抜要項について 2 大学院学生募集要項について
3	令和2年7月13日	1 学校推薦型選抜・一般選抜の追試の設定について （入学者選抜要項の内容変更） 2 学校推薦型選抜 推薦書 の様式について 3 調査書の活用について 4 令和3年度 助産学専攻科 選抜方法等の概要について 5 令和3年度 助産学専攻科入学試験 実施要領について 6 令和3年度 助産学専攻科 学生募集要項について
4	令和2年8月19日	1 2021(令和3)年度入学者選抜要項について （看護学科追試験の日程の変更について）

回	日 時	審議・報告事項
		2 2021(令和3)年度 学校推薦型選抜 実施要領について 3 2021(令和3)年度 学校推薦型選抜 学生募集要項について 4 2021(令和3)年度 一般選抜 実施要領について 5 2021(令和3)年度 一般選抜 学生募集要項について
5	令和2年9月23日	1 2021(令和3)年度 学校推薦型選抜 実施要領について 2 2021(令和3)年度 大学院入学試験について 3 2021(令和3)年度 一般選抜 実施要領について 4 2021(令和3)年度 一般選抜 学生募集要項について
6	令和2年10月29日	1 2021(2020年度実施)の大学入学選抜について 2 助産学専攻試験説明会配布資料(案)について 3 学校推薦型選抜入学試験 説明会配布資料(案)について 4 一般選抜試験 実施要領(案)について 5 一般選抜試験 学生募集要項(案)について 6 2022年度(2021年4月～2022年3月実施)入学試験実施計画(案)について
7	令和3年1月13日	1 看護学科における入学試験合格者への入学前教育について 2 一般選抜試験実施要領の見直し(小論文採点方法)について 3 一般選抜試験における追試験の実施について 4 2022(令和4)年度入試問題作成のための書籍の購入について
8	令和3年1月28日	1 臨床検査学科における入学試験合格者への入学前教育について 2 2021(令和3)年度一般選抜入学試験(前期日程・後期日程)説明会について 3 2021(令和3)年度一般選抜入学試験における在校生及び受験生への対応について 4 2021(令和3)年度一般選抜入学試験の追試験への対応について

【図書委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和2年4月23日	1 令和2年度図書委員会・雑誌編集委員会 目的、目標、活動内容について 2 令和2年度図書委員会年間計画表(タイムスケジュールについて) 3 図書館収集方針について 4 令和2年度選書方法について 5 視聴覚資料の購入について 6 「香川県立保健医療大学図書館利用規程」の一部改正について 7 令和2年度図書館事務分掌について 8 令和元年度決算・令和2年度予算について 9 令和元年度学外来館者集計結果について

		10 令和元年度図書館利用に関するアンケートについて 11 令和元年度蔵書（閉架）点検作業結果報告 12 図書館利用統計について 13 新型コロナウイルスに関する図書館の対応状況について 14 大学雑誌編集スケジュールについて 15 依頼稿依頼先の決定について 16 「香川県立保健医療大学雑誌投稿前チェックリスト」の一部改正について 17 「香川県立保健医療大学雑誌投稿編集規程」の一部改正について 18 「香川県立保健医療大学雑誌原稿執筆要領」の一部改正について
2	令和2年6月8日	1 新聞データベースの購入検討について 2 視聴覚資料の購入について 3 研究費・教材費で購入した資料の除籍について 4 「新聞・雑誌の廃棄について(図書館内規)」の一部見直し 5 令和2年度図書館開館カレンダーの変更（予定）について 6 蔵書点検について 7 視聴覚資料・洋図書リクエスト受付について 8 第10回大学図書館学生協働交流シンポジウムの中止について 9 香川県立保健医療大学リポジトリ(香川共同リポジトリ)のシステム移行について 10 大学雑誌第12巻について
3	令和2年9月8日 令和2年9月17日	1 洋図書リクエストおよび視聴覚リクエストで希望のあった資料の購入について（9/17も） 2 2021年度データベースについて 3 2021年1-12月の洋雑誌（オンラインジャーナル・冊子体）について 4 2021年度和雑誌・新聞について 5 図書館所蔵資料の除籍方針について 6 図書館の閉館時間について 7 衛生委員会委員による巡視結果について 8 2019年度貸出ベストについて 9 来年度予算について 10 図書サークルビブリアの活動について 11 大学雑誌第12巻編集スケジュールについて 12 大学雑誌査読者の決定について（9/17も） 13 投稿予定調査票の修正について

4	令和2年12月14日	1 リクエストで希望のあった洋書の購入について 2 ヨミダストライアルの結果について 3 令和3年度予算について 4 蔵書点検結果報告 5 令和元(2019)年分発行の雑誌(和・洋)の製本日程について 6 利用者アンケートについて 7 大学雑誌第12巻の送付先について 8 大学雑誌第12巻掲載順と種別について 9 大学雑誌第12巻の体裁について
5	令和3年2月5日	1 図書館所蔵資料の除籍について 2 新聞データベース「ヨミダス」について 3 医中誌web版のアクセス方法とIDの区分について 4 令和3(2021)年度図書館開館カレンダーについて 5 令和3(2021)年度の継続図書について 6 開架コーナーの追加について 7 JAIRO Cloud(機関リポジトリ)の運用開始について 8 令和3(2021)年度和雑誌の購入と休刊について 9 閲覧室天井の蛍光灯周りの水漏れ跡について 10 図書サークルビブリアの活動報告について 11 令和3(2021)年度の「図書館ガイダンス」の日程について 12 大学雑誌第12巻の掲載順について 13 大学雑誌第12巻の進捗状況 14 令和2(2020)年度図書委員会・雑誌編集委員会活動の振り返りと今後の課題に向けて
6	令和3年3月5日	1 図書館資料の除籍について 2 令和3年度選書方法について 3 入館受付票について 4 廃棄図書配布方法の詳細について 5 図書館利用統計について 6 オープンアクセス学術誌要覧(DOAJ)について 7 新聞クリッピングについて 8 大学雑誌第12巻の進捗状況 9 令和2(2020)年度図書委員会・雑誌編集委員会活動の振り返りと今後の課題

【FD・SD委員会】

回	年月日	審議・報告事項
1	令和2年4月16日	1 FDの進め方について（全体、学科単位） 2 授業評価について 3 その他

【広報・公開講座委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和2年4月8日	(1) 令和2年度広報計画及び年間行事予定表について (2) 高等学校の先生方への大学紹介・入試説明会の開催計画について (3) オープンキャンパスの開催計画について (4) 公開講座の開催計画について (5) その他
2	令和2年5月8日	(1) 高等学校の先生方への大学紹介・入試説明会の開催計画について (2) 公開講座の開催計画について (3) オープンキャンパスの開催について (4) 大学ホームページの写真の更新について (5) その他
3	令和2年6月5日	(1) 高等学校の先生方への大学紹介・入試説明会の開催延期について (2) 公開講座の開催について (3) オープンキャンパスの開催について (4) その他
4	令和2年6月19日	(1) 高等学校の先生方への大学紹介・入試説明会について (2) Webオープンキャンパス開催計画について (3) ミニオープンキャンパスの開催について (4) 大学広報誌「HANDs」vol.25について (5) その他
5	令和2年7月29日	(1) 入試に関する個別相談の実施について (2) Webオープンキャンパス動画の本学HPへの掲載について (3) Webオープンキャンパス動画の作成を依頼した学生への謝礼について (4) Webオープンキャンパス役割分担・アンケート（案）について (5) 高等学校の先生方への大学紹介・入試説明会のアンケート結果について (6) その他
6	令和2年8月11日	(1) 第2回Webオープンキャンパスの開催について（日時等） (2) 入試に関する個別相談について (3) その他
7	令和2年11月30日	(1) 第1回、第2回Webオープンキャンパスの実施報告について (2) 学生が作成した動画について (3) 令和2年度公開講座の実施報告について (4) 大学広報誌「HANDs」（Vol.26）について (5) 令和3年度広報計画について (6) その他
8	令和3年2月3日	(1) 令和3年度広報計画（案）について (2) 令和3年度行事日程（案）について (3) 大学HPの改修・活用について

		(4) その他
--	--	---------

【研究委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和2年4月14日	(1) e-ラーニングについて (2) 科学研究費助成事業について (3) 学内研究報告会について (4) 今年度の活動目的・目標の明確化について (5) その他

【国際交流委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和2年4月14日	1. 2018、2019 年度国際交流委員会 活動状況について 2. 国際交流委員会活動計画書(令和2年度・令和3年度)について 3. その他
2	令和3年2月17日	1. コロナウイルス感染症予防下でのSAITとの交流について
3	令和3年3月15日	1. コロナウイルス感染症予防下でのSAITとの具体的な交流の進め方について

【三大学連携推進委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和2年4月6日	1 特別講義・施設見学について 2 三大学合同新入生歓迎会について 3 サイエンスキャンプについて 4 大学祭の相互乗り入れについて 5 三大学学術交流会について

【進路支援委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和2年5月25日	1 令和2、3年度進路支援委員会活動 2 令和2年度年間計画 3 研修について 4 県内就職促進について
2	令和3年2月24日	1 令和2年度年間計画実施報告 2 令和2年度の進路内定状況 3 令和3年度年間計画案

【倫理審査委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和2年4月22日	1 委員の紹介 2 倫理審査申請書の審査 3 令和2年度倫理審査委員会の予定について
2	令和2年5月27日	1 倫理審査申請書の審査
3	令和2年6月24日	1 倫理審査申請書の審査
4	令和2年7月22日	1 倫理審査申請書の審査
5	令和2年9月23日	1 倫理審査申請書の審査 2 院生の倫理審査申請書等について
6	令和2年11月11日	1 倫理審査申請書の審査 2 臨時委員会（令和2年12月9日）の開催について
7	令和2年12月9日	1 倫理審査申請書の審査
8	令和3年1月13日	1 倫理審査申請書の審査 2 令和3年度倫理審査委員会の予定について
9	令和3年3月10日	1 倫理審査申請書の審査

【利益相反審査委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和2年4月22日	1 委員の紹介 2 利益相反申請書の審査
2	令和2年5月27日	1 利益相反申請書の審査
3	令和2年6月24日	1 利益相反申請書の審査
4	令和2年9月23日	1 利益相反申請書の審査
5	令和3年1月13日	1 利益相反申請書の審査

【衛生委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和2年5月21日	1 委員会の運営及び年間計画について 2 職場巡視について 3 ヘルスアップセミナー講師派遣事業について 4 新型コロナウイルス感染症対策について
2	令和2年5月	1 職場巡視実施結果報告（4月分）
3	令和2年6月	1 職場巡視実施結果報告（5月分）
4	令和2年7月	1 職場巡視実施結果報告（6月分）
5	令和2年7月31日	1 衛生委員による職場巡視
6	令和2年8月	1 職場巡視実施結果報告（7月分）
7	令和2年9月	1 職場巡視実施結果報告（8月分）
8	令和2年9月9日	1 ヘルスアップセミナー
9	令和2年10月	1 職場巡視実施結果報告（9月分）

10	令和2年11月	1 職場巡視実施結果報告（10月分）
11	令和2年12月	1 職場巡視実施結果報告（11月分）
12	令和3年1月	1 職場巡視実施結果報告（12月分）
13	令和3年2月	1 職場巡視実施結果報告（1月分）
14	令和3年3月	1 職場巡視実施結果報告（2月分）

【防火等管理委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和2年11月2日	1 令和2年度防災訓練の実施内容について 2 消防計画書について 3 その他

【地域連携推進センター運営委員会】

回	年月日	審議・報告事項
1	令和2年4月13日	1 地域連携推進センターの活動目的・目標・活動内容について 2 担当割り当てについて 3 採択事業について 4 健康サポーター養成講座について 5 その他
2	令和2年5月7日	1 採択事業について 2 担当割り当てについて 3 健康サポーター養成講座について 4 その他
3	令和2年6月26日	1 地域連携推進センター事業の日程について 2 健康教育の企画書と指導案作成 3 その他
4	令和2年9月16日	1 健康サポーター養成講座等について 2 ライフサイエンス教室について 3 ふるさとまつりについて 4 採択事業について 5 その他
5	令和3年2月24日	1 令和2年度 事業報告について 2 保健医療従事者を対象とする研究に関する研修会実施要領について 3 その他

【研究科専門委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和2年4月13日	1 令和2年度研究指導教員及び修士・博士論文題目について 2 修士論文中間報告会に関する実施要領について

		3 新型コロナウイルス感染拡大を踏まえた授業の在り方について 4 その他
2	令和2年5月7日	1 臨床検査学専攻博士学位審査規程等の改正について 2 令和3年度大学院研究科担当教員資格審査について 3 令和2年度研究指導教員及び修士・博士論文題目変更について 4 その他
3	令和2年5月28日	1 令和3年度大学院研究科担当教員資格審査について 2 保健医療学研究科 修士及び博士学位審査規程等の改正について 3 臨床検査学専攻 博士後期課程学位取得プロセスの改正について 4 看護学専攻博士後期課程研究計画書審査委員の選出について 5 その他
4	令和2年8月19日	1 修士課程の研究計画書の承認について 2 休学について 3 特別講義について 4 その他
5	令和2年10月15日	1 臨床検査学専攻 博士論文研究計画審査委員の選出について 2 大学院実践者養成コース開設に伴う学則の改正について 3 その他
6	令和2年11月18日	1 研究科担当教員の資格審査について 2 博士後期課程 出願資格審査等について 3 博士論文予備審査に係る博士論文予備審査委員の選出について 4 令和3年度大学院のシラバスについて 5 修士論文題目変更について 6 その他
7	令和2年12月23日	1 修了式の謝辞等代表者の選出について 2 保健医療学研究科令和3年度の授業科目について 3 保健医療学研究科令和3年度の非常勤講師について 4 博士論文予備審査の結果報告について 5 その他
8	令和3年1月29日	1 令和2年度修士論文審査会の審査委員について 2 令和2年度博士論文審査会の審査委員について 3 令和2年度保健医療学研究科 論文発表会（最終試験）要領について 4 長期履修について 5 実践者養成コース（保健師課程・助産師課程）の県内推薦枠について

		6 その他
9	令和3年2月24日	1 看護学専攻及び臨床検査学専攻における修士学取得要項の改正について 2 令和3年度学年暦について 3 令和3年度入学式オリエンテーションについて 4 その他
10	令和3年3月18日	1 休学について 2 大学院研究科担当教員資格審査規程について 3 保健師・助産師課程の課程変更に係る変更承認申請について 4 令和3年度大学院保健医療学研究科 行事予定表について 5 保健医療学研究科の各種申請書の押印の見直しについて 6 その他